R8.8/10_第１回推進協議会

【資料２－２】

時点：R8.8/6（木）

第３期
伊賀城和定住自立圏（伊賀市・名張市・笠置町・南山城村・山添村）共生ビジョン
(素案)

2027（令和９）年●月

*** 目　次 ***

ページ数は最後に調整します。

第１章　定住自立圏共生ビジョンの基本的事項

１．定住自立圏の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

２．圏域を構成する市町村の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

３．定住自立圏共生ビジョンの目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

４．定住自立圏共生ビジョンの期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

第２章　圏域の概況

１．圏域を構成する市町村の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

２．各市町村の人口と面積・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

３．伊賀・山城南・東大和定住自立圏の経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

４．圏域の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

第３章　第１期の振り返り

１．第１期共生ビジョンの主な取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

２．第２期共生ビジョンの主な取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

第４章　圏域の将来像

１．圏域の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

２．圏域人口の将来展望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

３．圏域の高齢化率の将来展望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

４．中心市と連携市町村の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

５．共生ビジョンの進行管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

第５章　伊賀・山城南・東大和定住自立圏の取り組み

１．協定項目一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

２．具体的な取り組みの体系図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

第６章　定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取り組み

１．協定の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

２．具体的取組事項に係る成果指標（KPI）一覧・・・・・・・・・・・・・・・・19

３．具体的取組事項【１】生活機能の強化に係る分野・・・・・・・・・・・・・・22

具体的取組事項【２】結びつきやネットワークの強化に係る分野・・・・・・・・32

具体的取組事項【３】圏域マネジメント能力の強化に係る分野・・・・・・・・・38

資料編

１．共生ビジョン懇談会設置要綱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39

２．共生ビジョン懇談会委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40

３．共生ビジョン策定及び変更経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43

４．定住自立圏構想中心市宣言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45

第１章　定住自立圏共生ビジョンの基本的事項

１．定住自立圏の名称

伊賀城和定住自立圏（伊賀市・名張市・笠置町・南山城村・山添村）

伊賀地域と奈良県東部、京都府南部は、古来より木津川を通じて結びつきの強い地域でした。江戸時代には、藤堂藩の伊賀城和として、一体的にまとまりをもつ地域として捉えられていました。こういった歴史的な繋がりをベースに、未来に向けて圏域の一体感をより強固にし、その意識を醸成することをイメージしました。

期	圏域名称	略称	構成市町村
第１期	伊賀・山城南定住自立圏	―	伊賀市・笠置町・南山城村 （→2020 年４月　山添村）
第２期	伊賀・山城南・東大和定住自立圏	伊賀城和定住自立圏	伊賀市・笠置町・南山城村・山添村 （→2024 年 10 月　名張市）
第３期	伊賀城和定住自立圏 (伊賀市・名張市・笠置町・南山城村・山添村)	―	伊賀市・名張市・笠置町・南山城村・山添村

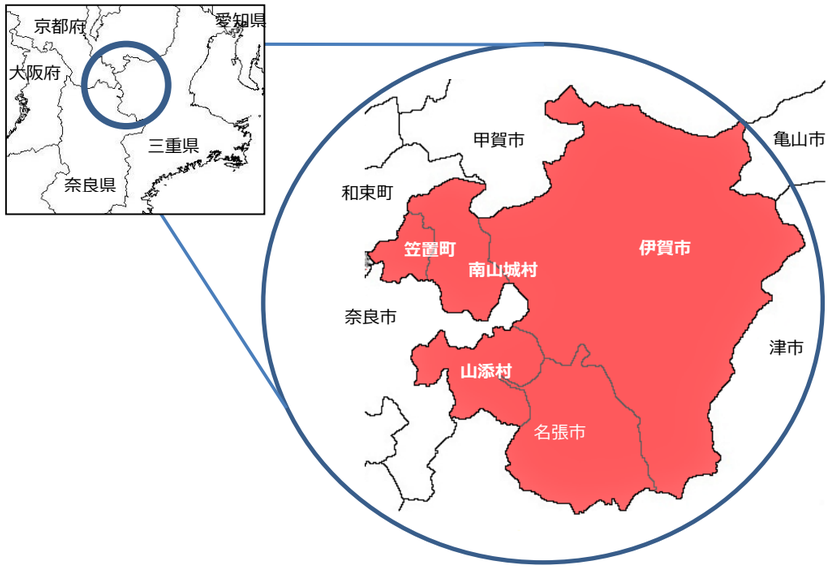
２．圏域を構成する市町村の名称

中　心　市：三重県伊賀市

連携市町村：三重県名張市

京都府笠置町、南山城村

奈良県山添村



３．定住自立圏共生ビジョンの目的

定住自立圏構想とは、「中心市」の都市機能と「連携自治体」の魅力を活用して相互に役割分担し、連携・協力することで、圏域に暮らす全ての住民が幸せを実感できる地域にするとともに、地方圏への定住を促進するための取り組みです。

この構想実現のため策定する定住自立圏共生ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成 20 年総行応第 39 号）及び定住自立圏形成協定に基づき、圏域全体で人口定住のために必要な生活機能を確保し、自立のための経済基盤や地域の誇りを培い、地域の活性化を図るため、中長期的な観点から、圏域が目指す将来像及びその実現のために必要な具体的な取り組み等を明らかにするものです。

なお、本ビジョンは、圏域の定住自立圏構想の推進にあたり、総務省をはじめ、各府省の支援の根拠となるもので、国の地方創生の基本方針の中でも、各圏域における取り組みの更なる拡大・充実を支援すると明記されています。また、現在各市町村において、「地方版総合戦略」を策定し、人口減少社会に歯止めをかけるための取り組みを進めています。

４．定住自立圏共生ビジョンの期間

第３期ビジョンの期間は、2027（令和９）年度から 2031（令和 13）年度までの５年間とし、毎年度所要の見直しを行うこととします。

2017 平成 29 年	2018 平成 30 年	2019 令和元年	2020 令和２年	2021 令和３年	2022 令和４年	2023 令和５年	2024 令和６年	2025 令和７年	2026 令和８年
第１期共生ビジョン					第２期共生ビジョン				
2027 令和９年	2028 令和 10 年	2029 令和 11 年	2030 令和 12 年	2031 令和 13 年					
第３期共生ビジョン									

第２章　圏域の概況

１．圏域を構成する市町村の概要

伊賀市		所在地 三重県伊賀市四十九町 3184 番地 URL・二次元コード https://www.city.iga.lg.jp/	概況	伊賀市は、三重県の北西部に位置し、四方を山々に囲まれた盆地で豊かな自然に恵まれています。京都・奈良と伊勢を結ぶ大和街道・伊賀街道・初瀬街道を有し、古来より都（飛鳥、奈良、京都など）に隣接する地域として、また、交通の要衝として、江戸時代には藤堂家の城下町や伊勢神宮への参宮者の宿場町として栄えてきました。このような地理的・歴史的背景から京・大和文化の影響を強く受けながらも独自の文化を醸成し、伊賀流忍者発祥の地、俳聖松尾芭蕉や横光利一のふるさととして、また、吉田兼好ゆかりの地としても広く知られており、歴史文化の薫る地域となっています。  伊賀盆地  伊賀上野城  ユネスコ登録された上野天神祭のダンジリ行事
名張市		所在地 三重県名張市鴻之台１番町１番地 URL・二次元コード https://www.city.nabari.lg.jp	概況	名張市は、三重県の西部に位置し、近畿・中部両圏の接点にあることから、古くは万葉の時代から東西往来の要所、宿場町として栄えてきました。日本の滝百選等に指定された赤目四十八滝や香落渓など自然豊かな景勝地にも恵まれています。電車によるアクセスの便利さから、関西圏のベッドタウンとして急速に発展し、里山の原風景が広がる農村集落と、成熟した住宅地が共存する街並みが広がっています。また、住民主体のまちづくりや、市民の活動が盛んで市民発のブランドロゴも完成しました。  赤目四十八滝  旧市街地のまち並  市民発のブランドロゴ

笠置町

所在地

京都府相楽郡笠置町大字笠置小字西通 90 番地の 1

URL・二次元コード

https://www.town.kasagi.lg.jp/

概況

笠置町は、京都府の南端に位置し、府内で一番人口の少ない町です。町のシンボルでもある笠置山は古くから信仰の対象とされ、山頂の笠置寺には日本一といわれる弥勒大磨崖仏があります。また、後醍醐天皇の行在所としても知られ、当時をしのぶ史跡も数多く残っています。
四季を通じて豊かな自然を楽しめ、日本の桜名所百選に選定されている桜が春を告げ、秋には笠置山が錦に染まります。笠置町は歴史と美しい自然が調和する町です。


笠置山自然公園


木津川巨岩・巨石群


雲海

南山城村

所在地

京都府相楽郡南山城村大字北大河原小字久保 14 番地 1

URL・二次元コード

https://www.vill.minamiyamashiro.lg.jp/

概況

南山城村は、京都府の南東端に位置し、南は奈良県、北は滋賀県、東は三重県に隣接している、京都府で唯一の“村”です。中央には雄大な木津川の流れと、高山ダム湖と夢絃峡の清流が生み出す幽玄美、点在する集落には緑豊かな茶畑が広がり、良質な宇治茶の主産地として知られています。北側には夏場でも清涼な童仙房高原など、豊かな自然と里山の風景を残した元気な村です。


白石・中谷の茶畑


高山ダム


田山花踊り

山添村

所在地

奈良県山辺郡山添村大字大西１５１番地

URL・二次元コード

https://www.vill.yamazoe.nara.jp/life/

概況

奈良県の北東端に位置する山添村は、大和高原と呼ばれる地域の一角で、東部は三重県伊賀市及び名張市、北部及び西部は奈良市、南部は宇陀市に隣接しています。起伏とゆるやかな傾斜地が多い隆起準平原で、大和茶の栽培が盛んです。観光の中心である神野山は、つつじ、鍋倉渓、神野寺などで知られ、県立月ヶ瀬神野山自然公園に指定されています。自然豊かで古い歴史がありながら、国道 25 号と名阪国道が村内を縦断していることから、近隣市町村や都市部へのアクセスも非常に良い村です。


里山風景


神野山の星空


めえめえ牧場

２．各市町村の人口と面積

市町村名	人口（人）	面積（ｋ㎡）
伊賀市	83,335	558.23
名張市	73,235	129.77
笠置町	1,033	23.52
南山城村	2,324	64.11
山添村	2,965	66.52
圏域合計	162,892	842.15

※人口は 2025（令和 7）年 12 月末住民基本台帳人口、面積は 2020（令和２）年国勢調査の数値を用い作成

３．伊賀・山城南・東大和定住自立圏の経緯

2015（平成 27）年６月 24 日に、伊賀市が定住自立圏構想推進要綱に基づく中心市宣言を行いました。中心市宣言後は、圏域形成のため、隣接する名張市、笠置町、南山城村、山添村へ趣旨説明を行い、各自治体担当者により、連携できる可能性がある取り組みについての調査研究を行いました。

2016（平成 28）年度に入り、笠置町及び南山城村と圏域形成に向けて、さらに取り組みを進めることを確認し、６月 16 日には「伊賀・山城南定住自立圏推進協議会」を設立しました。協議会では、定住自立圏形成協定の対象項目及び取り組み内容について協議し、構成する全ての市町村の９月定例議会にて協定締結議案が可決されました。そして 10 月４日に合同調印式を開催し、伊賀市と笠置町、南山城村との間において、伊賀・山城南定住自立圏の形成に関する協定を締結しました。これにより、三重県と京都府の２府県にまたがる定住自立圏域が形成されました。

その後、2019（平成 31）年４月 24 日に開催した「伊賀・山城南定住自立圏推進協議会」にて、山添村が当圏域で一緒に取り組みを進めていくことが決定され、伊賀市及び山添村の９月定例議会にて協定締結議案が可決されました。そして 10 月８日に定住自立圏の形成に関する協定を締結し、「伊賀・山城南・東大和定住自立圏」（略称「伊賀城和定住自立圏」）と圏域名を改め、奈良県を含めた３府県をまたぐ全国的にも類稀な定住自立圏が形成されました。

さらには、2024（令和６）年２月に、名張市が定住自立圏への加入をめざす方針を示し、2024（令和６）年８月１日に開催した「伊賀・山城南・東大和定住自立圏推進協議会」では当圏域で一緒に取り組みを進めていくことが決定されました。そして、伊賀市及び名張市の９月定例議会にて協定締結議案が可決され、10 月 22 日に定住自立圏の形成に関する協定を締結しました。これで当圏域の形成は２市１町２村となり、圏域内でのさらなる連携を深め、取り組みを進めています。

４．圏域の状況

（１）総人口の状況

圏域人口は、国勢調査によると 2000（平成 12）年の 195,625 人を境に減少傾向にあります。2020（令和２）年の国勢調査による圏域人口は、171,914 人で、2015（平成 27）年の 177,070 人と比べ、2.8%（▲5,156 人）減少しており、圏域を形成する伊賀市、名張市、笠置町、南山城村及び山添村のいずれの自治体においても減少し続けています。

また、国立社会保障・人口問題研究所が公表している人口推計によると、今後も本圏域における全自治体の人口は減少し続けると推計されています。2040（令和 22）年の圏域人口は 133,019 人で、2020（令和２）年と比較すると、約 23%（▲38,895 人）減少すると予測されています。

連携市町村の人口推移・推計

		実績値								推計値			
		1985 (S60)	1990 (H2)	1995 (H7)	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)	2025 (R7)	2030 (R12)	2035 (R17)	2040 (R22)
伊賀市	実数（人）	96,846	97,752	101,435	101,527	100,623	97,207	90,581	88,766	84,149	79,441	74,749	70,033
	増減率（%）	－	0.9	3.8	0.1	▲0.9	▲3.4	▲6.8	▲ 2.0	▲ 5.2	▲ 5.6	▲ 5.9	▲ 6.3
名張市	実数（人）	56,474	68,933	79,913	83,291	82,156	80,284	78,795	76,387	71,965	68,073	63,766	59,203
	増減率（%）	－	22.1	15.9	4.2	▲ 1.4	▲ 2.3	▲ 1.9	▲ 3.1	▲ 5.8	▲ 5.4	▲ 6.3	▲ 7.2
笠置町	実数（人）	2,429	2,311	2,223	2,056	1,876	1,626	1,368	1,144	970	825	687	564
	増減率（%）	－	▲4.9	▲3.8	▲7.5	▲8.8	▲13.3	▲ 15.9	▲ 16.4	▲ 15.2	▲ 14.9	▲ 16.7	▲ 17.9
南山城村	実数（人）	3,701	3,890	4,024	3,784	3,466	3,078	2,652	2,391	2,128	1,862	1,603	1,351
	増減率（%）	－	5.1	3.4	▲6.0	▲8.4	▲11.2	▲ 13.8	▲ 9.8	▲ 11.0	▲ 12.5	▲ 13.9	▲ 15.7
山添村	実数（人）	5,933	5,773	5,420	4,967	4,595	4,107	3,674	3,226	2,871	2,516	2,191	1,868
	増減率（%）	－	▲3.7	▲6.1	▲8.4	▲7.5	▲10.6	▲ 10.5	▲ 12.2	▲ 11.0	▲ 12.4	▲ 12.9	▲ 14.7
圏域全体	実数（人）	165,383	178,659	193,015	195,625	192,716	186,302	177,070	171,914	162,083	152,717	142,996	133,019
	増減率（%）	－	8.0	8.0	1.4	▲ 1.5	▲ 3.3	▲ 5.0	▲ 2.8	▲ 5.7	▲ 5.8	▲ 6.4	▲ 7.0

資料：国立社会保障・人口問題研究所

※伊賀市の 1995（平成７）年から 2005（平成 17）年までの人口推移の実績値には、国勢調査における「年齢不詳」分を含むため、５ページに掲載する「年齢３区分人口」の内訳を合計した値と一致しません。

（２）年齢３区分人口の状況

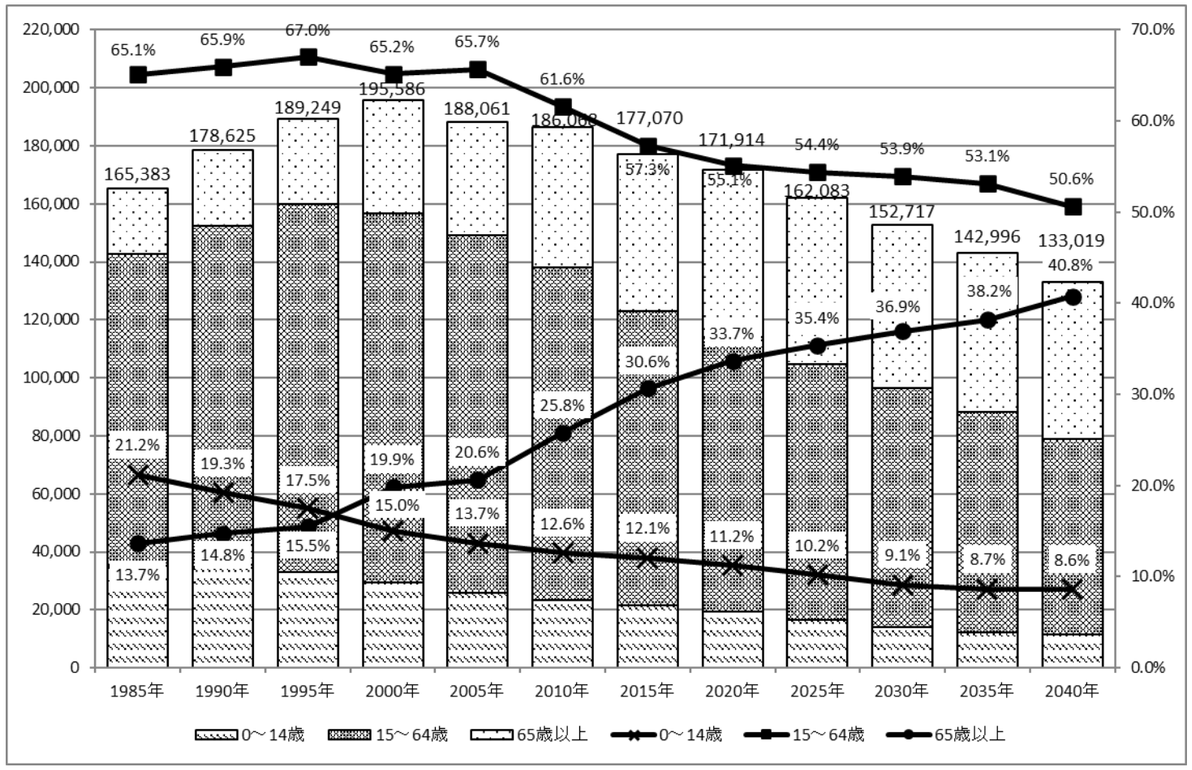
年少人口（0～14 歳）は、1985（昭和 60）年以降、また生産年齢人口（15～64 歳）は、1995（平成 7）年以降に減少し続けており、2000（平成 12）年には、老年人口（65 歳以上）が年少人口を上回りました。老年人口割合は、今後も増加し続け、2040（令和 22）年には 40.8%と推計されており、高齢化が進んでいます。

連携市町村の年齢３区分人口の推移・推計

			実績値								推計値			
			1985 (S60)	1990 (H2)	1995 (H7)	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)	2025 (R7)	2030 (R12)	2035 (R17)	2040 (R22)
伊賀市	年少	実数（人）	18,218	16,780	15,973	14,492	13,200	12,167	10,763	9,699	8,247	7,127	6,462	6,039
		比率（%）	18.8	17.2	15.8	14.3	13.1	12.5	11.9	10.9	9.8	9.0	8.6	8.6
	生産	実数（人）	63,542	63,919	64,940	63,660	62,119	58,273	51,141	49,461	46,818	43,941	40,734	36,543
		比率（%）	65.6	65.4	64.0	62.7	61.7	59.9	56.5	55.7	55.6	55.3	54.5	52.2
	老年	実数（人）	15,086	17,053	20,490	23,366	25,298	26,767	28,677	29,606	29,084	28,373	27,553	27,451
		比率（%）	15.6	17.4	20.2	23.0	25.1	27.5	31.7	33.4	34.6	35.7	36.9	39.2
名張市	年少	実数（人）	14,534	15,667	15,460	13,552	11,603	10,560	10,060	9,155	7,885	6,540	5,707	5,227
		比率（%）	25.7	22.7	20.3	16.3	15.0	13.2	12.8	12.0	11.0	9.6	8.9	8.8
	生産	実数（人）	36,492	46,273	54,642	57,269	55,593	51,424	46,462	42,309	38,938	36,406	33,538	29,504
		比率（%）	64.6	67.2	71.7	68.8	71.7	64.2	59.0	55.4	54.1	53.5	52.6	49.8
	老年	実数（人）	5,448	6,959	6,077	12,440	10,311	18,066	22,273	24,923	25,142	25,127	24,521	24,472
		比率（%）	9.6	10.1	8.0	14.9	13.3	22.6	28.3	32.6	34.9	36.9	38.5	41.3
笠置町	年少	実数（人）	419	374	325	256	183	120	63	49	39	29	22	16
		比率（%）	17.2	16.2	14.6	12.5	9.8	7.4	4.6	4.3	4.0	3.5	3.2	2.8
	生産	実数（人）	1,631	1,511	1,409	1,254	1,086	893	678	491	377	297	230	161
		比率（%）	67.1	65.4	63.4	61.0	57.9	54.9	49.6	42.9	38.9	36.0	33.5	28.5
	老年	実数（人）	379	426	489	546	607	613	627	604	554	499	435	387
		比率（%）	15.6	18.4	22.0	26.6	32.4	37.7	45.8	52.8	57.1	60.5	63.3	68.6
南山城村	年少	実数（人）	738	649	587	454	338	250	175	154	128	107	77	60
		比率（%）	19.9	16.7	14.6	12.0	9.8	8.1	6.6	6.4	6.0	5.7	4.8	4.4
	生産	実数（人）	2,367	2,557	2,614	2,400	2,096	1,744	1,361	1,077	881	727	612	467
		比率（%）	64.0	65.7	65.0	63.4	60.5	56.7	51.3	45.0	41.4	39.0	38.2	34.6
	老年	実数（人）	596	684	823	930	1,032	1,084	1,116	1,160	1,119	1,028	914	824
		比率（%）	16.1	17.6	20.5	24.6	29.8	35.2	42.1	48.5	52.6	55.2	57	61
山添村	年少	実数（人）	1,124	975	746	537	415	356	304	255	194	145	114	94
		比率（%）	18.9	16.9	13.8	10.8	9.0	8.7	8.3	7.9	6.8	5.8	5.2	5.0
	生産	実数（人）	3,697	3,535	3,255	2,883	2,632	2,261	1,815	1,401	1,160	995	868	698
		比率（%）	62.3	61.2	60.1	58.0	57.3	55.1	49.4	43.4	40.4	39.5	39.6	37.4
	老年	実数（人）	1,112	1,263	1,419	1,547	1,548	1,490	1,555	1,570	1,517	1,376	1,209	1,076
		比率（%）	18.7	21.9	26.2	31.1	33.7	36.3	42.3	48.7	52.8	54.7	55.2	57.6
圏域全体	年少	実数（人）	35,033	34,445	33,091	29,291	25,739	23,453	21,365	19,312	16,493	13,948	12,382	11,436
		比率（%）	21.2	19.3	17.5	15.0	13.7	12.6	12.1	11.2	10.2	9.1	8.7	8.6
	生産	実数（人）	107,729	117,795	126,860	127,466	123,526	114,595	101,457	94,739	88,174	82,366	75,982	67,373
		比率（%）	65.1	65.9	67.0	65.2	65.7	61.6	57.3	55.1	54.4	53.9	53.1	50.6
	老年	実数（人）	22,621	26,385	29,298	38,829	38,796	48,020	54,248	57,863	57,416	56,403	54,632	54,210
		比率（%）	13.7	14.8	15.5	19.9	20.6	25.8	30.6	33.7	35.4	36.9	38.2	40.8

資料：国立社会保障・人口問題研究所

圏域全体の年齢３区分人口の推移・推計



資料：国立社会保障・人口問題研究所

（３）伊賀市への通勤・通学の状況

中心市である伊賀市には、笠置町、名張市、南山城村及び山添村から多くの住民が通勤・通学しており、雇用面でのつながりが強いことが伺えます。

	通勤通学割合〔Ａ／Ｂ〕（%）	伊賀市に対して通勤通学する就業者及び通学者数〔Ａ〕（人）	当該市町村に常住する就業者及び通学者数〔Ｂ〕（人）
名張市	20.1	7,924	39,454
笠置町	6.4	34	529
南山城村	20.4	241	1,184
山添村	16.3	294	1,800

資料：2022（令和２）年国勢調査

（４）圏域住民の生活に必要な都市機能の利用状況

①医療機能

伊賀市・名張市では、圏域住民の安全・安心な暮らしを支えるために、一次救急医療と二次救急医療のすみわけを進めており、特に二次救急医療体制の確保に向け、実施病院等との連携強化に取り組むなど、地域医療の充実に努めています。

本圏域については、府県をまたぎ、それぞれの地域で医療体制を構築している中で、一定割合の受診者を受け入れており、圏域住民の暮らしを支えています。

◆居住地別外来延患者数（2025（令和７）年度）　（人）

	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市	その他	合計
上野総合市民病院	55,793	4	352	694	8,161	3,626	68,630
岡波総合病院	88,068	93	1,055	1,933	25,135	3,422	119,706
名張市立病院	5,073	0	13	402	51,156	2,083	58,727

◆居住地別入院延患者数（2025（令和７）年度）　（人）

	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市	その他	合計
上野総合市民病院	53,483	0	297	714	9,120	3,248	66,862
岡波総合病院	70,050	9	553	1,394	22,354	2,796	97,153
名張市立病院	5,409	0	67	519	30,016	1,552	37,563

◆救急車搬送件数（2025（令和７）年度）　（人）

	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市	その他	合計
上野総合市民病院	1,532	0	15	34	644	172	2,397
岡波総合病院	1,920	0	16	51	747	30	2,764
名張市立病院	595	0	3	20	1,834	211	2,663

◆圏域内の応急診療所の居住地別患者数（2025（令和７）年度）　（人）

	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市	その他	合　計
伊賀市応急診療所	1,453	0	5	16	97	151	1,722
名張市応急診療所	12	0	0	3	651	54	720

②その他施設

圏域内の市立図書館（図書室含む）や斎苑においても、圏域住民の利用が多いことがうかがえます。特に斎苑については、2020（令和２）年度より新たに定住自立圏域料金を設けることで、連携町村住民の利用について負担の軽減を図りました。2024（令和６）年度の名張市の加入で圏域内でのさらなる連携を深め、取り組みを進めていきます。

◆圏域内市立図書館　図書利用カード登録者数（2025（令和７）年度末現在）　（人）

	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市	その他	合計
伊賀市立図書館	18,067	3	108	91	648	254	19,171
名張市立図書館	877	0	0	75	15,672	474	17,098

※2019（令和元）年度から過去 10 年間利用がない登録者を削除

◆圏域内斎苑利用件数（2025（令和７）年度）　（件）

	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市	その他	合計
伊賀市斎苑	1,201	0	19	23	1	45	1,289
名張市斎場	115	0	3	25	946	122	1,211

（５）産業について

圏域における就業人口は、人口減少に伴い減少傾向にあります。2020（令和２）の就業人口の割合について、圏域全体と連携市町村を比較すると、伊賀市では第２次産業、名張市、笠置町では第３次産業、南山城村及び山添村では第１次産業の割合が高くなっています。

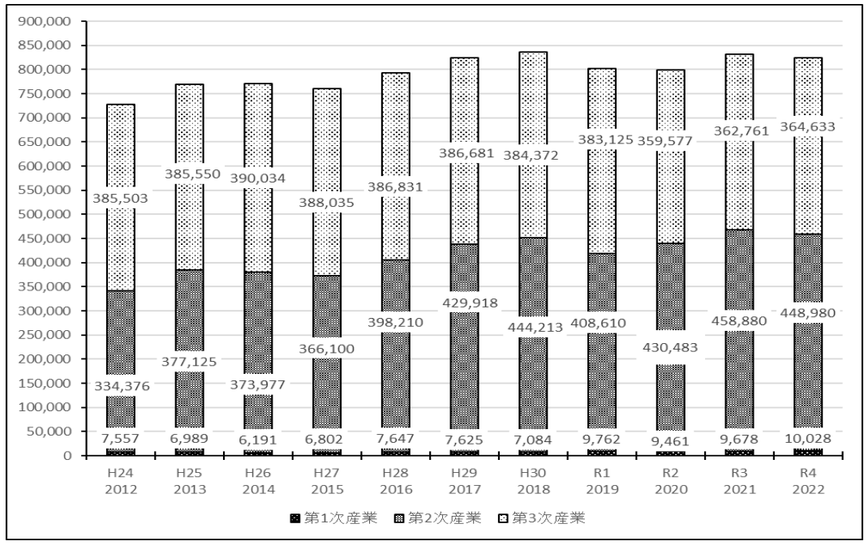
産業別就業人口（割合）

		2005（H17）		2010（H22）		2015（H27）		2020（R2）	
伊賀市	第１次産業	3,763	7.6	2,432	5.5	2,620	6.0	2,307	5.5
	第２次産業	19,250	38.8	17,159	39.2	17,274	39.3	17,009	40.4
	第３次産業	26,545	53.6	24,235	55.3	24,059	54.7	22,782	54.1
名張市	第１次産業	1,114	2.8	793	2.2	901	2.5	794	2.2
	第２次産業	13,148	33.6	12,156	33.1	12,101	33.2	11,840	33.5
	第３次産業	24,829	63.5	23,745	64.7	23,443	64.3	22,709	64.3
笠置町	第１次産業	48	5.5	22	3.2	24	4.0	27	5.3
	第２次産業	212	24.4	165	23.9	131	22.0	112	22.1
	第３次産業	609	70.1	503	72.9	440	74.0	367	72.5
南山城村	第１次産業	362	20.7	250	17.0	188	15.6	188	17.3
	第２次産業	374	21.4	295	20.1	245	20.3	198	18.2
	第３次産業	1,014	57.9	924	62.9	773	64.1	701	64.5
山添村	第１次産業	498	20.8	419	19.9	382	20.8	271	16.7
	第２次産業	664	27.7	602	28.7	513	28.0	478	29.5
	第３次産業	1,237	51.6	1,080	51.4	940	51.2	872	53.8
圏域全体	第１次産業	5,785	6.2	3,916	4.6	4,115	4.9	3,587	4.5
	第２次産業	33,648	35.9	30,377	35.8	30,264	36.0	29,637	36.7
	第３次産業	54,234	57.9	50,487	59.6	49,655	59.1	47,431	58.8
	合計	93,667	100	84,780	100	84,034	100.0	80,655	100.0

※2020（令和２）年国勢調査を用い作成、左欄は人数、右欄は分類不能の産業を除く構成割合

圏域内の産業別総生産の推移

（百万円）



		2012（H24）	2013（H25）	2014（H26）	2015（H27）	2016（H28）	2017（H29）	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）
伊賀市	第1次	4,791	4,332	3,728	4,156	4,757	4,692	4,563	7,819	7,645	7,800	7,997
	第2次	250,473	276,100	270,550	260,427	282,722	305,337	316,089	298,161	325,829	348,698	347,090
	第3次	220,668	223,113	228,303	225,338	225,117	225,110	226,014	224,159	209,339	211,922	212,783
名張市	第1次	1,170	1,146	1,072	1,062	1,110	1,084	1,037	979	1,008	951	1,041
	第2次	78,498	93,733	97,479	99,602	105,617	116,001	118,689	98,520	95,028	97,956	90,275
	第3次	150,521	148,793	148,546	148,819	147,298	147,563	144,944	145,995	138,074	138,673	139,524
笠置町	第1次	18	17	19	21	20	23	24	25	27	26	18
	第2次	601	604	703	586	1,243	967	1,044	925	1,144	1,233	1,153
	第3次	2,885	2,721	2,610	2,954	3,104	3,055	2,933	2,796	2,478	2,389	2,446
南山城村	第1次	838	759	688	829	937	987	822	625	490	598	670
	第2次	537	1,176	798	897	1,901	851	797	906	638	1,482	937
	第3次	4,040	4,000	3,923	4,265	4,401	4,353	4,202	4,058	3,737	3,768	3,831
山添村	第1次	740	735	684	734	823	839	638	314	291	303	302
	第2次	4,267	5,512	4,447	4,588	6,727	6,762	7,594	10,098	7,844	9,511	9,525
	第3次	7,389	6,923	6,652	6,659	6,911	6,600	6,279	6,117	5,949	6,009	6,319
圏域全体	第1次	7,557	6,989	6,191	6,802	7,647	7,625	7,084	9,762	9,461	9,678	10,028
	第2次	334,376	377,125	373,977	366,100	398,210	429,918	444,213	408,610	430,483	458,880	448,980
	第3次	385,503	385,550	390,034	388,035	386,831	386,681	384,372	383,125	359,577	362,761	364,903
	合計	732,029	775,552	777,193	766,662	796,574	828,685	838,777	805,477	803,318	837,840	833,896

※ 令和４年度三重県市町民経済計算、令和４年度京都府市町村民経済計算、令和４年度奈良県市町村民経済計算を用い作成、圏域全体の合計は、「第１次」「第２次」「第３次」の合計に「輸入品に課される税・関税等」を加算

第３章　第１期の振り返り

１．第１期共生ビジョンの主な取り組み

<table>
<tr><th>年度</th><th>取り組み内容</th><th>年度</th><th>取り組み内容</th></tr>
<tr><td>2017（平成 29）</td><td>・「救急・健康相談ダイヤル 24」を圏域全体に拡大
 

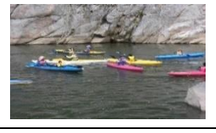
・伊賀市消防団と笠置町消防団が消防相互応援協定を締結
※伊賀市消防団と南山城村消防団とは 2006（平成 18）年に締結済
・ケーブルテレビ「ウィークリー伊賀市」において、特集「伊賀・山城南定住自立圏」を放映するとともに、連携町村においても同映像を公開</td><td>2020（令和２）</td><td>・伊賀市斎苑における圏域町村住民の使用料金均一化
・新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として、生活圏を共有する証として『圏域証』を発行
・ケーブルテレビ、伊賀市公式 YouTube において、4 市町村の首長による圏域住民への PR 動画を放映するとともに、連携町村においても同映像を公開
＜伊賀市公式 YouTube「忍者市チャンネル」＞
https://www.youtube.com/watch?v=Qlu9Kg_FklM
 

 
</td></tr>
<tr><td>2018（平成 30）</td><td>・伝統芸能「かんこ踊り」講演会
 
 
・消防団夏季訓練等への相互参加
・圏域を周遊するバスツアーの実施</td><td>2021（令和３）</td><td>・伊賀市プレミアム付食事券（二次募集分）の販売
 

・「N-１グランプリ in いが」の開催
 

※圏域団体の紹介や思いを１枚のパネルへ形にすることで、地域で頑張る活動団体を多くの人に知っていただき、住民自らが応援するとともに、行政が表彰することで、活動団体の意欲を高揚させるとともに、住民への活動に対する理解を深め、参加・参画を促すことを目的とする制度</td></tr>
<tr><td>2019（令和元）</td><td>・新たに山添村を加え、圏域の名称を「伊賀・山城南・東大和定住自立圏（略称：伊賀城和定住自立圏）」に変更
 

・定住自立圏シンポジウム（山添村ふれあいホール）の開催
・伊賀市消防団と山添村消防団が消防相互応援協定を締結
・カヌー体験教室の開催
  </td><td></td><td></td></tr>
</table>

第３章　第２期の振り返り

１．第２期共生ビジョンの主な取り組み

<table>
<tr><th>年度</th><th>取り組み内容</th><th>年度</th><th>取り組み内容</th></tr>
<tr><td>2022（令和４）</td><td>・高校進学エリアの拡大
従来は笠置町、南山城村からは伊賀白鳳高校の建築デザイン科のみ志願可能から伊賀市内の全ての高校（上野高校、伊賀白鳳高校、あけぼの学園高校）の志願が可能に
・圏域ステッカーの作成
  </td><td>2025（令和７）</td><td>・「救急・健康相談ダイヤル 24」の実施エリアを、名張市を加えた圏域全体に拡大
・伊賀地域における産科医療体制を確保するため、課題解決に向けての協議を開始
・連携事業講演会「藤堂藩における伊賀国と城和領」の開催
 
・南山城村で運行する村タクの笠置町への乗り入れが開始</td></tr>
<tr><td>2023（令和５）</td><td>・行政改革の合同職員研修会で、連携町村職員がオンライン受講
・南山城村で運行する村タクの伊賀市への乗り入れが開始
・「水と歴史でつながる圏域プロジェクト～空からの圏域見学体験事業～」
ヘリコプターで定住自立圏域の上空を約 100km 周回飛行
  </td><td>2026（令和８）</td><td>・連携事業講演会「藤堂高虎と高吉」の開催
 
・「水と歴史でつながる圏域プロジェクト～こどもたちのエリアプライドの醸成に向けた交流事業～」
伊賀市中央図書館で謎解き型演劇の実施
  </td></tr>
<tr><td>2024（令和６）</td><td>・名張市と「定住自立圏形成協定」を締結
 
・山添村コミュニティバスの伊賀市への乗り入れが開始
・「救急・健康ダイヤル 24」事業の多言語対応（英語・ポルトガル語・ベトナム語）を開始</td><td></td><td></td></tr>
</table>

第４章　圏域の将来像

１．圏域の将来像

“水と歴史でつながる圏域”　伊賀城和圏域

伊賀市、名張市、笠置町、南山城村及び山添村で構成される本圏域は、地理的に三重県、京都府、そして奈良県の境にまたがるとともに、東海圏と関西圏の境にも位置しています。また、大阪湾に流入する淀川水系のひとつである木津川、名張川が圏域内を流れており、圏域全体が周囲を山々に囲まれた自然に恵まれた地域です。

古くは和銅の道・大和街道・伊賀街道・初瀬街道が整備され、都と隣接する交通の要所として、また今では圏域内を東西に横断する国道 163 号、25 号、名阪国道やＪＲ関西本線、近鉄大阪線が整備され、中部圏と近畿圏を結ぶ交通の要所となっており、従来から買物、医療、通勤など暮らしに欠かせない生活機能面における人の流れや、住民相互の交流があることもうかがえます。さらには、歴史風土を背景とする観光資源や、恵まれた自然環境から産出される農産物等の特産品も数多くあります。

このように、本圏域は、府県の境にあり、東海圏と関西圏を挟んでいるにも関わらず、従来から様々な面でお互いの繋がりや結びつきが強く、圏域外に誇れる潜在力も高い地域であるといえることから、それぞれの地域が有する都市機能や固有の地域資源等を理解し、お互いが有する強みを持ちより弱みを補い合い、これまでからの繋がりや結びつきをこれまで以上に強めあうことで、魅力ある圏域を創り出すことを目指します。

第１期共生ビジョンにおいては、三重県伊賀市を中心市、京都府笠置町と南山城村を連携自治体として、2017（平成 29）年 6 月に策定しました。その後、2019（令和元）年５月に奈良県山添村が連携自治体として加わり、３府県を跨ぐ全国的にも珍しい圏域として、共生ビジョンの取り組みを進めてきました。

第２期においては、エリアプライドの醸成を賑わい創出の視点として加え、取り組みを進めてきました。その後、2024（令和６）年 10 月から三重県名張市が新たに連携自治体として加わり、本圏域は 2 市 1 町 2 村の体制となりました。伊賀市と名張市はいずれも三重県西部に位置し、人口規模・都市機能においても近似した特性を持つ市として、圏域のまとまりはより一層強固なものとなっています。

第３期においては、この 2 市 1 町 2 村の体制を活かし、圏域の将来像を第２期の『水と歴史でつながる圏域』を引き続き掲げるとともに、圏域全体における連携を強化することをめざし、従前の２つの視点に新たな第３の視点を加えます。

◆視点１【圏域でつながり、暮らしの安心を支える】

医療体制や子育て支援、防災体制、働く場所の確保、地域公共交通体制の構築など、地域で暮らす生活基盤の確保・充実を図り、住み続けたい地域で暮らせる圏域をめざします。

◆視点２【活発な交流により、賑わいを創出する】

伊賀市、笠置町、南山城村、山添村及び名張市がもつ地域資源、また地域に暮らす人材の交流等により、圏域全体で多様な資源の魅力を高め、賑わいの創出をめざします。特に、幼少期から圏域住民としての一体感を養うための交流を通して、エリアプライド（圏域の誇り・自尊心）の醸成をめざします。

◆視点３【「１対１の積み上げ」から「圏域全体での連携強化」へ】

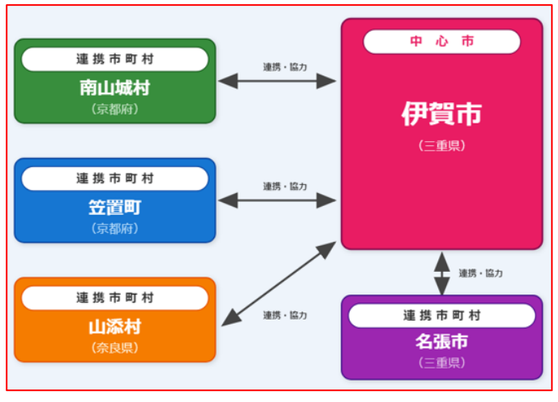
第２期までの定住自立圏は、中心市である伊賀市を「ハブ」とし、各連携自治体を「スポーク」として結ぶ構造（ハブ＆スポーク型連携）を基本としてきました。しかし、人口減少・少子高齢化が一層加速する中、伊賀市と同規模の都市機能・行政能力を有する名張市が新たに加わったことを機に、第３期では圏域の連携構造を「デュアルコア型連携」へ進展させます。

伊賀市を中心市として位置づけつつ、名張市を「圏域のもう一つの拠点（サブコア）」と位置づけ、伊賀地域で相互補完する関係を構築します。これにより、伊賀地域の強みを持ち寄り、笠置町・南山城村・山添村へ伊賀地域からスピルオーバーさせることで多角的に連携できる体制を実現します。

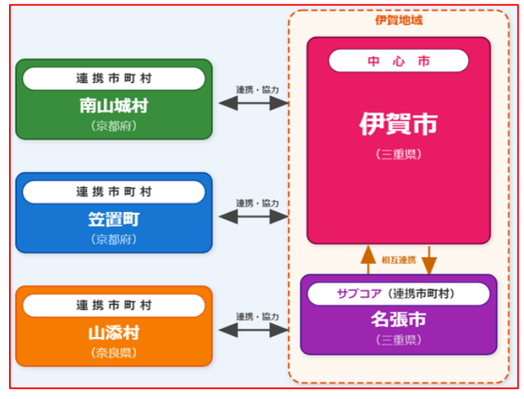
この構造転換により、従来の中心市と連携自治体との１対１の協定の積み上げにとどまらず、圏域全体で連携を強化することをめざします。

＊＊＊　連携構造のイメージ　＊＊＊

【第２期まで：ハブ＆スポーク型連携】

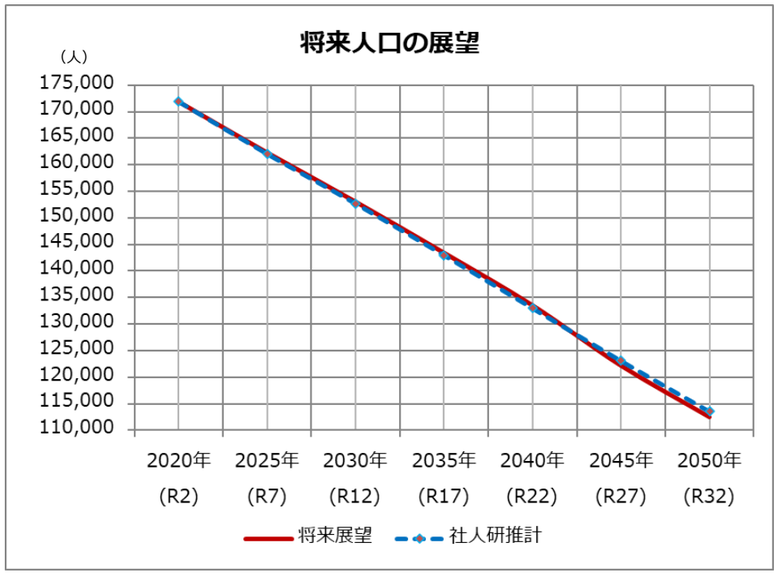


【第３期：デュアルコア型連携】



２．圏域人口の将来展望

圏域人口の将来展望については、それぞれの自治体の人口ビジョンを踏まえ、その総和である112,558 人を 2050（令和 32）年の圏域人口の将来展望とします。



	2020(R2)	2025(R7)	2030(R12)	2035(R17)	2040(R22)	2045(R27)	2050(R32)
将来展望	171,914	162,343	153,087	143,462	133,577	122,250	112,558
社人研推計	171,914	162,083	152,717	142,996	133,019	123,103	113,566

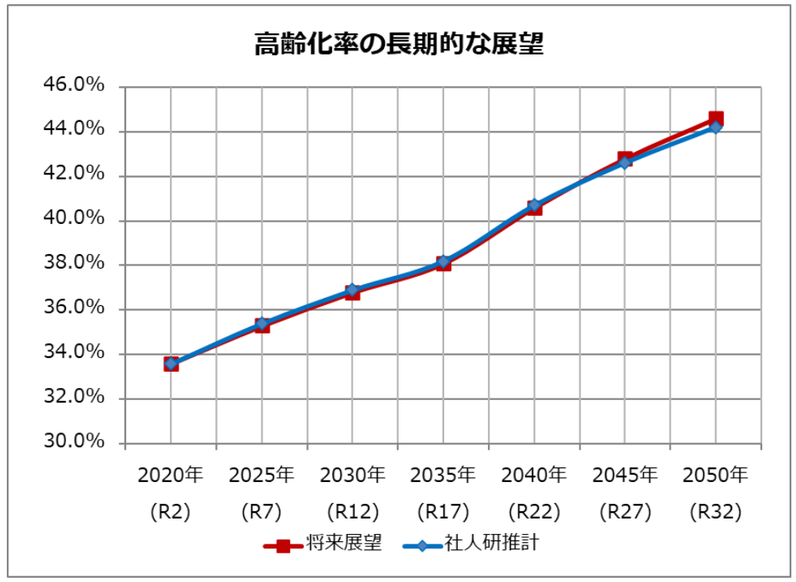
人口の将来展望の内訳

	2020(R2)	2025(R7)	2030(R12)	2035(R17)	2040(R22)	2045(R27)	2050(R32)
伊賀市	88,766	84,149	79,441	74,749	70,033	65,258	60,581
名張市	76,387	71,965	68,073	63,766	59,203	53,395	48,888
笠置町	1,144	1,142	1,037	950	888	640	555
南山城村	2,391	2,128	1,862	1,603	1,351	1,129	933
山添村	3,226	2,959	2,674	2,394	2,102	1,828	1,601
合計	171,914	162,343	153,087	143,462	133,577	122,250	112,558

＊2020(R2)年は国勢調査の実績値

３．圏域の高齢化率の将来展望

圏域の高齢化率については、2020（令和２）年国勢調査では、30%を超えており、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、今後も上昇を続けるよう推計されています。高齢化率についても、人口の将来展望と同様に、それぞれの自治体の人口ビジョンを踏まえることとし、2050（令和 32）年の圏域の高齢化率の将来展望を 44.6%とします。



	2020(R2)	2025(R7)	2030(R12)	2035(R17)	2040(R22)	2045(R27)	2050(R32)
将来展望	33.6%	35.3%	36.8%	38.1%	40.6%	42.8%	44.6%
社人研推計	33.6%	35.4%	36.9%	38.2%	40.7%	42.6%	44.2%

老年人口及び高齢化率の将来展望の内訳

	2020(R2)	2025(R7)	2030(R12)	2035(R17)	2040(R22)	2045(R27)	2050(R32)
伊賀市	29,606	29,084	28,373	27,553	27,451	266,889	25,544
名張市	24,923	25,142	25,127	24,521	24,472	23,764	23,004
笠置町	604	558	506	460	438	337	300
南山城村	1,160	1,119	1,028	914	824	721	613
山添村	1,570	1,506	1,379	1,217	1,058	911	788
合計	57,863	57,409	56,413	54,665	54,243	52,422	50,249
	33.6%	35.3%	36.8%	38.1%	40.6%	42.8%	44.6%
（参考）圏域人口	171,914	162,343	153,087	143,462	133,577	122,250	112,558

＊2020(R2)年は国勢調査の実績

４．中心市と連携市町村の役割

伊賀・山城南・東大和定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取り組みについては、連携事業としての必要性を考慮し、できることから着実に取り組んでいくこととします。

■中心市（伊賀市）の役割

中心市である伊賀市は、圏域全体の方向性を示すリーダーシップを発揮するとともに、圏域内の住民が安心して暮らしていけるよう都市機能を充実・強化します。圏域全体の生活基盤の支柱として、圏域内の魅力の向上及び活性化等に取り組むとともに、名張市と緊密に連携し、圏域全体を牽引します。

■連携市町村（名張市・笠置町・南山城村・山添村）の役割

名張市においては、伊賀市と同規模の人口・都市機能を有する市として、圏域のもう一つの拠点（サブコア）に位置づけます。名張市は、伊賀市が担う機能を補完するとともに、笠置町・南山城村・山添村の連携町村との地理的・生活的な結びつきを活かした生活機能の確保を担います。また、関西圏への交通アクセスの優位性や市民主体のまちづくりの豊富な経験を活かし、圏域の魅力を発信します。

笠置町、南山城村、山添村においては、伊賀市及び名張市と連携を図りながら、生活機能の確保・充実に努めるとともに、各地域が有する地域資源を活かした事業に取り組みます。また、伊賀市及び名張市とともに主体的・積極的に圏域施策に参画し、圏域全体のネットワーク強化に努めます。

５．共生ビジョンの進行管理

取り組みを進めるにあたっては、時代のニーズや社会情勢の変化に対応するとともに、伊賀城和定住自立圏共生ビジョン懇談会等での関係者の意見を幅広く反映することとします。

さらには、伊賀城和定住自立圏推進協議会等、自治体間での協議・調整の場において、それぞれの取り組み成果の把握・検証を行うなど、PDCA サイクルを構築し、次の施策や事業へ繋げることとします。

第５章　伊賀城和定住自立圏の取り組み

第２期共生ビジョンでは、引き続き協定項目に基づく施策ごとの取り組みを進め、圏域住民の一体感を醸成するとともに、３府県、さらには行政的に東海圏・関西圏を跨ぐ当圏域の特性を踏まえた広域的な活動にも積極的に取り組みます。

１．協定項目一覧表

協定項目	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市
１．生活機能の強化					
（１）医療					
①救急医療体制の推進	○	○	○	○	○
（２）健康・福祉					
①子育て支援事業の充実	○	○	○	○	○
②高齢・障がい福祉事業の充実	○	○	○	○	○
③健康づくり事業の充実	○	○	○	○	○
（３）教育					
①教育環境の整備	○	○	○	○	○
②文化・スポーツ活動の振興	○	○	○	○	○
③生涯学習活動の推進	○	○	○	○	○
（４）産業振興					
①就労支援と雇用の促進	○	○	○	○	○
②企業立地の促進	○	○	○	○	○
③広域観光事業	○	○	○	○	○
④地域ブランド創造促進事業	○	○	○	○	○
⑤鳥獣被害防止対策	○	○	○	○	○
（５）環境					
①不法投棄防止対策	○	○	○	○	○
②ごみ処理の広域連携の強化	○	○	○	○	○
③木津川流域の環境整備	○	○	○	○	○
（６）防災					
①広域連携による防災力強化	○	○	○	○	○
②相互応援体制の確立	○	○	○	○	○

協定項目	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市
２．結びつきやネットワークの強化					
（１）公共交通					
①地域公共交通対策	○	○	○	○	○
（２）ＩＣＴ・デジタル技術の活用					
①地域情報の共有化の推進	○	○	○	○	○
（３）交通インフラの整備					
①広域幹線道路等の整備促進	○	○	○	○	○
（４）地産地消					
①地産地消の推進と販路拡大	○	○	○	○	○
（５）地域内外の住民との交流					
①移住・交流施策の推進	○	○	○	○	○
②空き家の利活用	○	○	○	○	○
③公共施設の相互利用	○	○	○	○	○
④交流拠点施設の活用などによる地域間交流	○	○	○	○	○
３．圏域マネジメント能力の強化					
（１）人材育成・交流					
①圏域内職員の人材育成	○	○	○	○	○
（２）外部からの人材確保					
①専門的な知識経験を有する人材の確保	○	○	○	○	○

２．具体的な取り組みの体系図

生活機能の強化に係る分野		
政策	施策	事業
医療	救急医療体制の推進	1111　救急医療
健康・福祉	子育て支援事業の充実	1211　子育て支援
	高齢・障がい福祉事業の充実	1221　認知症・介護予防
		1222　障がい者福祉
	健康づくり事業の充実	1231　健康づくり
教育	教育環境の整備	1311　教育環境
	文化・スポーツ活動の振興	1321　文化・芸術振興
		1322　スポーツ振興
	生涯学習活動の推進	1331　生涯学習
		1332　図書館運営
産業振興	就労支援と雇用の促進	1411　雇用、勤労者対策
	企業立地の促進	1421　企業立地促進
	広域観光事業	1431　広域観光
	地域ブランド創造促進事業	1441　地場産業振興
	鳥獣被害防止対策	1451　鳥獣害防止
環境	不法投棄防止対策	1511　不法投棄防止
	ごみ処理の広域連携の強化	1521　ごみの資源化
	木津川流域の環境整備	1531　環境美化
防災	広域連携による防災力強化	1611　防災資機材整備
		1612　河川整備
	相互応援体制の確立	1621　常備消防
		1622　消防団

結びつきやネットワークの強化に係る分野		
政策	施策	事業
公共交通	地域公共交通対策	2111　鉄道網整備促進
		2112　関西本線の利用及び電化の促進
		2113　公共交通ネットワークの構築
ICT・デジタル技術の活用	地域情報の共有化の推進	2211　広報紙連携
		2212　SNS 等連携
交通インフラ	広域幹線道路等の整備促進	2311　道路整備
地産地消	地産地消の推進と販路拡大	2411　交流促進施設維持管理（道の駅活用事業）
内外交流	移住・交流施策の推進	2511　移住・交流
		2512　関係人口創出
	空き家の利活用	2521　空き家等対策
	公共施設の相互利用	2531　公共施設の集約化・共同利用等
	交流拠点施設の活用などによる地域間交流	2541　地域間交流

圏域マネジメント能力の強化に係る分野		
政策	施策	事業
人材育成・交流	圏域内職員の人材育成	3111　職員合同研修
人材確保	専門的な知識経験を有する人材の確保	3211　専門人材の確保と事務の共同実施の研究

第６章　定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取り組み

１．　協定の内容

人口定住に必要な生活機能を確保するために、役割分担し連携していくことを示しています。中心市の伊賀市と連携市町村が１対１で関係市町村の議会の議決を経て定めました。

甲は伊賀市、乙は連携市町村（笠置町、南山城村、山添村、名張市）を意味しています。

生活機能の強化に係る政策分野

	施策	取組内容	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市
1 医療	救急医療体制の推進	圏域住民が安心して救急医療を受けられるよう、関係機関と協議を図るとともに、救急医療の適正利用のための普及啓発に取り組む。	救急医療体制維持に必要な支援を行うとともに、乙と連携し、住民等への啓発等を行う。	甲及び関係機関と協力し、圏域の救急体制の維持に努めるとともに、住民等への啓発等を行う。			救急医療体制維持に必要な支援を行うとともに、甲と連携し、住民等への啓発等を行う。
	施策	取組内容	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市
2 健康・福祉	子育て支援事業の充実	安心して子育てできる環境を充実するため、子育て支援事業に係る連携拡大等に取り組む。	事業の実施に必要な協議を行うとともに、乙と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担する。	甲と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担する。			事業の実施に必要な協議を行うとともに、甲と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担する。
	高齢・障がい福祉事業の充実	高齢者及び障がい者が、住み慣れた圏域の中で自分らしく生活できるよう、各種事業に係る連携を図る。	事業の実施に必要な協議を行うとともに、乙と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担する。	甲と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担する。			事業の実施に必要な協議を行うとともに、甲と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担する。
	健康づくり事業の充実	すべての住民が、住み慣れた圏域の中で生涯にわたり、いきいきと健康に暮らすことができるよう、各種健康づくり事業に係る連携を図る。	事業の実施に必要な協議を行うとともに、乙と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担する。	甲と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担する。			事業の実施に必要な協議を行うとともに、甲と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担する。
	施策	取組内容	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市
3 教育	教育環境の整備	圏域内での高校進学については、連携自治体の多様な進学希望に対応できるよう、各自治体の枠を越えた進学先の拡大を進めることで、将来的な圏域内就職に繋がるよう取り組む。	乙と連携し、関係府県への働きかけを強化する。	甲と連携し、関係府県への働きかけを強化する。			
	文化・スポーツ活動の振興	各種事業の情報提供及び文化・スポーツ施設の相互利用を図りつつ、各種活動団体等	圏域内の各種活動団体等の情報を収集し、乙と連携し、	圏域内の各種活動団体等の情報の収集に協力し、甲と連携し、文化・スポーツ活動の振興を行う。			

		が連携した圏域における文化･スポーツ活動の振興に取り組む。	文化・スポーツ活動の振興を行う。				
	生涯学習活動の推進	各種事業の情報提供並びに生涯学習施設及び各図書館等の相互利用並びに各種指導者及びボランティアグループの養成等を図りつつ､圏域における生涯学習活動の推進に取り組む。	圏域内の各種事業の情報を収集し、乙と連携し、生涯学習活動の企画・運営を行う。	圏域内の各種事業の情報収集に協力し、甲と連携し、生涯学習活動の企画・運営を行う。			
	施策	取組内容	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市
4 産業振興	就労支援と雇用の促進	圏域内の企業の周知を図ることで､圏域内企業への就業率を向上させるとともに､多様な就業形態を必要とする女性、障がい者､中高年齢者などが希望する仕事に就けるよう能力開発及び就業へのマッチングに向けて取り組む。	乙及び関係団体、関係機関との連携を強化し、雇用情報の収集及び提供を行い、雇用創出につながる活動を展開する。	甲及び関係団体、関係機関との連携を強化し、雇用創出につながる活動を展開する。			甲及び関係団体、関係機関との連携を強化し、雇用情報の収集及び提供を行い、雇用創出につながる活動を展開する。
	企業立地の促進	圏域内での労働需要に対応した労働環境を整えるため､安定した魅力ある雇用の場の確保及び雇用創出に取り組む。	乙と連携し、産業集積の形成及び活性化に必要な取り組みを行う。	甲と連携し、産業集積の形成及び活性化に必要な取り組みを行う。			
	広域観光事業	圏域内の自治体及び各主体が連携し､圏域全体のＰＲや誘客事業を推進する。また、連携による新たな観光商品の開発に努め、圏域の観光交流人口の増加を目指す。	乙と連携し、観光情報の収集、発信を行うとともに、観光資源の発掘に努める。あわせて圏域内外での各種イベントでＰＲする。	甲と連携し、観光情報の収集、発信を行うとともに、観光資源の発掘に努める。あわせて圏域内外での各種イベントでＰＲする。			
	地域ブランド創造促進事業	圏域内の特産品等のブランド力を強化し、地域資源を最大限に活用したブランドの確立による情報発信及び販路開拓に取り組む。	圏域内の特産品等の情報を共有し、新たなブランドの掘り起こしを図るとともに、イベントでの共同出品など、乙と連携し、広くＰＲする。	圏域内の特産品等の情報を共有し、新たなブランドの掘り起こしを図るとともに、イベントでの共同出品など、甲と連携し、広くＰＲする。			
	鳥獣被害防止対策	圏域内での情報共有により､鳥獣被害の実態を把握し､圏域全体で有害鳥獣による農作物等への被害防止及び駆除に取り組む。	乙と連携し、鳥獣被害防止対策に必要な取り組みを行う。	甲と連携し、鳥獣被害防止対策に必要な取り組みを行う。			
	施策	取組内容	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市
環　5	不法投棄防止対策	圏域内で実施している環境パトロールを	不法投棄防止監視パトロー	不法投棄防止監視パトロール業務を甲及び関係団体と連携し、情報交換を行いながら、効率的な対策を講じる。			

		連携させることで、不法投棄の実態を把握し、圏域全体で不法投棄の再発防止に向けて取り組む。	ル業務を乙及び関係団体と連携し、情報交換を行いながら、効率的な対策を講じる。				
	ごみ処理の広域連携の強化	ごみ処理コストの軽減、リサイクルによる循環型社会の構築のため、可燃ごみの資源化を軸として、さらなる４Ｒの推進に取り組む。	乙と連携し、ごみ減量やリサイクルの推進等に取り組む。	甲と連携し、ごみ減量やリサイクルの推進等に取り組む。			
	木津川流域の環境整備	圏域内を流れる木津川の河川環境を整備するとともに、圏域全体で木津川の自然を発信する。	乙と連携し、木津川流域の保全・整備・活用に必要な取り組みを行う。	甲と連携し、木津川流域の保全・整備・活用に必要な取り組みを行う。			
	施策	取組内容	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市
6 防災	広域連携による防災力強化	災害時における正確な情報共有及び圏域内での相互応援体制の整備として、災害備蓄品などの情報共有を図る。また、広域的な治水対策に取り組む。	甲の防災に関する情報を収集し、乙と共有する。また、圏域内での訓練実施等を検討する。	乙の防災に関する情報を収集し、甲と共有する。また、圏域内での訓練実施等を検討する。			
	相互応援体制の確立	各種災害に対して、被害を軽減するため連携自治体間で連携する。	乙と相互応援協定等により連携する。	甲と相互応援協定等により連携する。			

結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

	施策	取組内容	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市
1 公共交通	地域公共交通対策	鉄道、バス等、圏域住民の交通手段の確保のため、公共交通機関の利便性の向上と利用促進を図る。	乙及び関係機関と連携し、地域公共交通の利用促進を図るとともに、病院等の公共的施設の開設時間に合わせたダイヤ調整を行う。	甲及び関係機関と連携し、地域公共交通の利用促進を図るとともに、病院等の公共的施設の開設時間に合わせたダイヤ調整を行う。			―
			乙及び関係機関と連携し、地域公共交通の利便性の向上と利用促進を図る。	―			甲及び関係機関と連携し、地域公共交通の利便性の向上と利用促進を図る。

	施策	取組内容	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市
2 ＩＣＴ・デジタル技術の活用	地域情報の共有化の推進	圏域における地域情報を共有し、圏域内の自治体等の情報発信媒体を活用し、情報発信を図る。	圏域内の情報を収集し、乙に提供するとともに、圏域内外に発信する。	乙の情報を甲に提供するとともに、圏域内外に発信する。			
	施策	取組内容	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市
3 交通インフラの整備	広域幹線道路等の整備促進	広域的な観点で国道等幹線道路や地域生活に密着した道路の整備を促進する。	乙と連携し、物流の円滑化や圏域住民の利便性の向上など、広域的な視点で幹線道路や生活道路の整備に取り組む。	甲と連携し、物流の円滑化や圏域住民の利便性の向上など、広域的な視点で幹線道路や生活道路の整備に取り組む。			
	施策	取組内容	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市
4 地産地消	地産地消の推進と販路拡大	「道の駅」をはじめとする圏域内の主要施設等で、相互の特産品等の販売及びＰＲを行い、地場産品の消費拡大を図る。	乙と連携し、圏域内の特産品等の情報を共有し、広くＰＲを行い、学校給食等への導入や圏域内外でのイベントへの共同出展など、販路拡大に取り組む。	甲と連携し、圏域内の特産品等の情報を共有し、広くＰＲを行い、学校給食等への導入や圏域内外でのイベントへの共同出展など、販路拡大に取り組む。			
	施策	取組内容	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市
5 地域内外の住民との交流	移住・交流施策の推進	圏域内への移住希望者が必要とする情報及び支援を的確に把握し、ニーズに合わせたサポートを検討する。また、相談窓口の設置及び圏域全体での情報発信に取り組む。	移住・交流を促進するための情報収集と施策の検討を行い、乙と共有するとともに、圏域として一体的な情報発信の取り組みを行う。	移住・交流を促進するための情報収集と施策の検討を行い、甲と共有するとともに、圏域として一体的な情報発信の取り組みを行う。			
	空き家の利活用	地域や目的に応じた空き家の利活用を推進するため、空き家バンクへの登録を促進し、連携自治体双方の情報を共有し、共同発信に努める。	圏域の空き家情報を、空き家バンクを通して乙と連携し、共同発信する。	空き家情報について甲に情報提供するとともに、圏域内の情報を発信する。			

5 地域内外の住民との交流	公共施設の相互利用	それぞれの自治体で所有する公共施設について、行政区域を越えた相互利用を推進することで、圏域内外の住民の交流を図る。	乙の住民・団体に、甲が所有する公共施設の使用を甲の住民・団体と同一の基準で許可し、使用させる。	甲の住民・団体に、乙が所有する公共施設の使用を乙の住民・団体と同一の基準で許可し、使用させる。	―
			乙の住民・団体に、甲が所有する公共施設の相互利用の促進を図る。	―	甲の住民・団体に、乙が所有する公共施設の相互利用の促進を図る。
	交流拠点施設の活用などによる地域間交流	交流拠点施設の活用などにより、圏域住民の交流を図る。	乙と連携し、新たなサービスの仕組みの検討及び構築を行う。	甲と連携し、新たなサービスの仕組みの構築に係る協議及び検討を行い、構築に向けた協力を行う。	甲と連携し、新たなサービスの仕組みの検討及び構築を行う。

圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

	施策	取組内容	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市
1 人材育成・交流	圏域内職員の人材育成	圏域内職員の能力及び資質の向上を図り、双方の組織力の活性化と職員を育成するため、合同で研修会等を実施する。	圏域で実施することが効果的な職員向けの研修会等を企画、実施するとともに、乙が実施する職員研修等に参加する。	甲が実施する職員向け研修会等に参加するとともに、乙が実施する職員研修等に、甲の職員の参加の機会を提供する。			圏域で実施することが効果的な職員向けの研修会等を企画、実施するとともに、甲が実施する職員研修等に参加する。
	施策	取組内容	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市
2 外部からの人材確保	専門的な知識経験を有する人材の確保	各施策分野に関する専門的知識及び多様な経験を有する人材の採用･招聘などにより、戦略的・重点的な施策展開を図る。	乙と連携し、各政策分野の取り組みに必要な知識を有する専門家を招聘する。	乙と連携し、各政策分野の取り組みに必要な知識を有する専門家を招聘する。			―
			乙と連携し、各政策分野の取り組みに必要な知識を有する専門家を招へいする。	―			甲と連携し、各政策分野の取り組みに必要な知識を有する専門家を招へいする。

２．具体的取組事項に係る成果指標（KPI）一覧

定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組事項に成果指標（KPI）を設定しました。

取組事項ごとに KPI を設定し、進捗を管理することにより定住自立圏構想の PDCA サイクルの構築を図ります。

政策分野	政策	施策名	事業№	成果指標	現状値 2025（R7）年度	目標値 2031（R13）年度
1 生活機能の強化に係る分野	医療	救急医療体制の推進	1111	救急・健康相談ダイヤル 24 受付件数	件	件
	健康･福祉	子育て支援事業の充実	1211	子育て相談広場「にんにんパーク」参加者数（保護者含む）	人	人
		高齢・障がい福祉事業の充実	1221	認知症サポーター登録者数	人	人
			1222	障がい福祉啓発事業数	件	
		健康づくり事業の充実	1231	健康づくり講座参加者数	件	件
	教育	教育環境の整備	1311	伊賀市内にある進学可能な三重県立高校の案内パンフレットを配布している笠置町・南山城村・山添村の中学校数	校	校
				小中学校において ICT を活用し交流した回数	回	回
		文化・スポーツ活動の振興	1321	文化芸術イベントの開催情報の共有数		
			1322	スポーツイベント・スポーツ教室等の開催情報の共有数		
		生涯学習活動の推進	1331	生涯学習事業の開催情報共有率	%	%
			1332	圏域内市立図書館利用カード登録者数　※在住登録者を除く	人	人
	産業振興	就労支援と雇用の促進	1411	合同就職セミナー参加者数	人	人
		企業立地の促進	1421	工場立地動向調査における新規立地企業件数（1000 ㎡以上）	件	件
		広域観光事業	1431	１人当たりの観光消費額	円	円
		地域ブランド創造促進事業	1441	物産展での売上高	千円	千円
		鳥獣被害防止対策	1451	鳥獣害防止対策に係る情報共有の回数	回／年	回／年
	環境	不法投棄防止対策	1511	不法投棄回収量	Kg	Kg
		ごみ処理の広域連携の強化	1521	資源化率の向上	%	%
		木津川流域の環境整備	1531	河川美化活動及び啓発事業への参加者数	人	人
	防災	広域連携による防災力強化	1611 1612	非常食の備蓄率（５自治体の目標とする備蓄率を平均した数値）	%	%
		相互応援体制の確立	1621	常備消防との応援協定に基づく、合同・図上訓練及び訓練見学な	回	回

			1622	ど情報共有の回数		
政策分野	政策	施策名	事業№	成果指標	現状値 2025（R7）年度	目標値 2031（R13）年度
2 結びつきやネットワークの強化に係る分野	公共交通	地域公共交通対策	2111	圏域内ＪＲ駅年間利用者数	人	人
			2112	圏域内運行バス年間利用者数	人	人
			2113			
	ICT・デジタル技術の活用	地域情報の共有化の推進	2211	広報紙による情報提供回数	年／回	年／回
			2212			
	交通インフラ	広域幹線道路等の整備促進	2311			
	地産地消	地産地消の推進と販路拡大	2411	道の駅あやま　年間客数	人	人
				道の駅いが　年間客数	人	人
				道の駅お茶の京都みなみやましろ村　年間客数	人	人
				花香房　年間客数	人	人
				とれたて名張交流館　年間客数	人	人
	内外交流	移住・交流施策の推進	2511	移住情報の提供箇所数	箇所	箇所
			2512	ふるさと納税寄付件数	件	件
		空き家の利活用	2521	空き家バンク成約数	件	件
		公共施設の相互利用	2531	新たな相互利用に関する取組数	施設	施設
		交流拠点施設の活用などによる地域間交流	2541	地域間交流の取組数	件	件
政策分野	政策	施策名	事業№	成果指標	現状値 2025（R7）年度	目標値 2031（R13）年度
3　圏域マネジメント能力の強化に係る分野	人材育成・交流	圏域内職員の人材育成	3111	圏域市町村職員合同研修会	回	回
	人材確保	専門的な知識経験を有する人材の確保	3211	政策課題についての検討回数	回	回

３．具体的取組事項

【１】生活機能の強化に係る分野

政策（１）医療

圏域住民が安心して暮らせるためには、救急医療体制の確保が必要です。

このため、連携自治体間で救急医療に関する情報を共有し、住民に情報提供を行うとともに、一次・二次救急医療体制の充実と確保を行い、圏域住民の安定した生活の確保を目指します。

併せて、圏域住民への更なる安心の提供に向け、医療や健康に関する相談機能の共有化等の体制づくりを目指します。

施策①　救急医療体制の推進

期待される効果

医療に関する相談体制及び休日・夜間の一次救急医療体制を確保することで、軽症患者の診療体制が充実し、圏域住民に安心できる生活を提供するとともに、二次救急医療機関の負担軽減が図れます。また、応急診療所の広域での機能分担や連携強化を進めることにより持続可能な運営ができます。

	計						
役割分担	伊賀市 （中心市）	救急医療体制維持に必要な支援を行うとともに、名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、住民等への啓発等を行います。					
	名張市 （サブコア）	救急医療体制維持に必要な支援を行うとともに、 伊賀市と連携し、住民等への啓発等を行います。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市及び関係機関と協力し、圏域の救急体制の維持に努めるとともに、住民等への啓発等を行います。					

事業No.	1111	事業名	救急医療				
事業概要	圏域住民が安心して救急医療を受けられるよう、自治体間で連携を図り、一次・二次救急医療体制を維持するための支援を行うとともに休日・夜間の急病者に対応する診療所を開設し、地域医療体制の充実と確保に努めます。 また、救急医療や応急処置等に関する相談に 24 時間対応する「伊賀市救急・健康相談ダイヤル 24」事業の実施対象地域を維持・拡大し、連携自治体間の共有する課題を認識したうえで、安心できる医療体制を提供するとともに、救急医療の適正な利用を促進します。 圏域住民が安心してこどもを産み育てる環境を維持するため、分娩取り扱い医療機関への支援の強化やアクセス支援などの検討を進めます。 また、圏域の医師看護師等医療従事者を確保するため、構成市町村同士が連携して、圏域全体の不足解消につながる取り組みを行うための調査研究を進めます。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						

政策（２）健康・福祉

連携自治体では、それぞれが住民の健康や福祉に関する事業を行っています。

現在の多様化・複雑化する住民のニーズに対して、今後、連携自治体間で健康・福祉に関する情報を共有し、各種事業の対象者を圏域全体に拡大することなどにより、高齢者のみならず障がいのある人や子どもなど、全ての住民が活躍できQOL（生活の質）の高い地域の仕組みづくりを目指して、地域包括ケアシステムの構築を進めます。

施策①　子育て支援事業の充実

期待される効果

戸外で活動することで自然に親しみながら手作り遊具で遊び、広場を駆け巡ることによって健全にからだ育てができます。また、子育て中の保護者の交流や保育士による子育て相談により子育てを充実させることができます。

病児がいても、家庭保育できない児童を一時的に預かり、仕事と子育てが両立できます。

事業№	1211	事業名	子育て支援				
事業概要	乳幼児と保護者を対象とした子育て支援事業の実施や交流広場の提供により、親子関係の形成や保護者同士の仲間づくりを促し、保護者の子育てへの意欲を高めます。また、子育て支援センターでは、子育て情報の収集・提供や各種教室を実施します。 病児保育の実施により、病気のために、保育所（園）、幼稚園、小学校などで集団生活が困難で、保護者の勤務などにより家庭で保育できない児童を一時的に預かります。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	事業の実施に必要な協議を行うとともに、名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担します。					
	名張市（サブコア）	事業の実施に必要な協議を行うとともに、伊賀市と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担します。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担します。					

施策②　高齢・障がい福祉事業の充実

期待される効果

高齢者の社会参加が促進されるとともに、健康寿命が延びます。認知症に対する正しい知識や認知症の人への理解を深めることにより、認知症の人も介護する家族も、安心して地域で生活することができます。

住み慣れた圏域の中で障がいのある人もない人もだれもが心地よく安心して暮らせるまちづくりをめざし、各事業や啓発活動等の取組を積極的に行います。

事業№	1221	事業名	認知症・介護予防				
事業概要	圏域住民の介護予防に対する意識向上を図るため、介護予防事業の情報共有を行います。 認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を見守り支える認知症サポーターを養成する講座を開催します。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	事業の実施に必要な協議を行うとともに、名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担します。					
	名張市（サブコア）	事業の実施に必要な協議を行うとともに、伊賀市と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担します。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担します。					

事業No.	1222	事業名	障がい者福祉				
事業概要	すべての住民が障がいの特性を理解し、偏見や差別のない社会を構築することで、障がいのある人が、住み慣れた地域で多くの人々と協力しあいながら、「自分らしい暮らし」を送れるよう、障がい福祉研修事業（職員向け）、障害者週間街頭啓発事業、点字奉仕員等養成事業、点字広報・声の広報等発行事業、要約筆記講座等を実施します。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	事業の実施に必要な協議を行うとともに、名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担します。					
	名張市（サブコア）	事業の実施に必要な協議を行うとともに、伊賀市と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担します。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担します。					

施策③　健康づくり事業の充実

期待され効果

圏域住民健康に対する意識向上に向けて健康情報の提供や知識の普及を図ります。

事業No.	1231	事業名	健康づくり				
事業概要	圏域住民の健康に対する意識向上および健康増進を図るため、健康づくり講座の情報共有を行います。 圏域内に在住する健康づくりの知識や資格を有する人材を「まちの講師」として登録・データベース化し、多様な住民ニーズに対応した出前講座を実施します。 単独自治体では埋もれがちな地域人材を圏域全体で集約・共有することで、質の高い講座の効率的な提供を可能とし、予防医療や未病対策を推進します。これにより、健康寿命の延伸と地域コミュニティの活性化を同時に実現することを目指します。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	事業の実施に必要な協議を行うとともに、名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担します。					
	名張市（サブコア）	事業の実施に必要な協議を行うとともに、伊賀市と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担します。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担します。					

政策（３）教育

公立高校進学では一部を除き、笠置町及び南山城村からは伊賀市内にある公立高校に進学できない状況でしたが、2023（令和５）年３月、笠置町、南山城村を所管する相楽東部広域連合教育委員会と三重県教育委員会が覚書を締結したことで、定住自立圏内での高校進学エリアが拡大し、伊賀市内の全ての高校の志願が可能となりました。引き続き、若年層の定住促進を目指します。

また、圏域住民がより一層、いきいきと暮らせるように、文化・スポーツ活動への参加の機会と場所の提供などにより、相互交流の促進を目指します。

施策①　教育環境の整備

期待される効果

児童生徒の交流を通じて、エリアプライドの醸成を図ることで、連携市町村の生徒が、圏域内にある高校を進学先として検討することが期待できます。また、将来的な就職に繋げ、人口減少を防ぎ、若年層の定住促進を目指します。

事業No.	1311	事業名	教育環境				
事業概要	連携市町村の中学校生徒に、進学可能な三重県立高校の案内パンフレットを配布し、学校の紹介を行います。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、関係府県への働きかけを強化します。					
	名張市（サブコア）	伊賀市と連携し、関係府県への働きかけを強化します。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市と連携し、関係府県への働きかけを強化します。					

施策②　文化・スポーツ活動の振興

期待される効果

圏域内で開催される文化芸術、スポーツイベント等の情報共有を継続することで、住民が身近に参加・鑑賞できる機会が広がり、文化・スポーツに親しむ層の拡大が期待できます。あわせて、来訪者の周遊や交流の促進につながり、交流人口の拡大を通じた地域のにぎわい創出と、圏域全体の文化・スポーツ振興が図れます。

事業No.	1321	事業名	文化・芸術振興				
事業概要	圏域内で行われる文化芸術イベント等の開催情報を相互に共有・発信することで、住民の参加機会を拡大し、文化施設の相互利用を促進します。あわせて、圏域内の団体・個人の交流を促し、新たなつながりの形成を図ります。さらに、より多くの人が文化芸術に親しめるようアウトリーチ事業を実施し、圏域内の小中学生等が文化芸術に触れる機会を創出することで、文化芸術の担い手・受け手を増やしていくことにつなげます。また、圏域内の文化財を貴重な地域資源として保存・活用するため、関連情報の一元化や効果的な発信に努めます。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	圏域内の各種活動団体等の情報を収集し、名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、文化・スポーツ活動の振興を行います。					
	名張市（サブコア）	圏域内の各種活動団体等の情報の収集に協力し、伊賀市と連携し、文化・スポーツ活動の振興を行います。					
	笠置町 南山城村 山添村	圏域内の各種活動団体等の情報の収集に協力し、伊賀市と連携し、文化・スポーツ活動の振興を行います。					

事業No.	1322	事業名	スポーツ振興				
事業概要	圏域内で行われるスポーツイベントやスポーツ少年団行事などの開催情報を共有することで、相互に気軽な参加ができる環境づくりを行います。また、住民のスポーツへの関心や参加機会を増やすため、スポーツ推進委員など指導者の育成についても情報共有を行います。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	圏域内の各種活動団体等の情報を収集し、名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、文化・スポーツ活動の振興を行います。					
	名張市（サブコア）	圏域内の各種活動団体等の情報の収集に協力し、伊賀市と連携し、文化・スポーツ活動の振興を行います。					
	笠置町 南山城村 山添村	圏域内の各種活動団体等の情報の収集に協力し、伊賀市と連携し、文化・スポーツ活動の振興を行います。					

施策③　生涯学習活動の推進

期待される効果

圏域全体で文化的・歴史的な魅力を共有することで、圏域住民の郷土意識や一体感が高まることが期待されます。

圏域内の図書館を利用できる体制を整えることにより、読書活動の増進に寄与することができます。

事業No.	1331	事業名	生涯学習				
事業概要	連携市町村に共通する伝統文化や歴史等に関する事業についての共有や交流事業の実施を通して、子どもから大人まで学び合い交流できる機会を提供します。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	圏域内の各種事業の情報を収集し、 名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、生涯学習活動の企画・運営を行います。					
	名張市（サブコア）	圏域内の各種事業の情報収集に協力し、伊賀市と連携し、生涯学習活動の企画・運営を行います。					
	笠置町 南山城村 山添村	圏域内の各種事業の情報収集に協力し、伊賀市と連携し、生涯学習活動の企画・運営を行います。					

事業No.	1332	事業名	図書館運営				
事業概要	圏域内に設置する図書館を利用できるよう、継続的に広く周知することにより、広域での読書活動の推進に努め利用促進を図ります。また、ボランティアグループ団体への活動支援として、読み聞かせ等に利用する紙芝居や絵本の団体貸出による相互支援を行います。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	圏域内の各種事業の情報を収集し、 名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、生涯学習活動の企画・運営を行います。					
	名張市（サブコア）	圏域内の各種事業の情報収集に協力し、伊賀市と連携し、生涯学習活動の企画・運営を行います。					
	笠置町 南山城村 山添村	圏域内の各種事業の情報収集に協力し、伊賀市と連携し、生涯学習活動の企画・運営を行います。					

政策（４）産業振興

本圏域は、豊富な歴史資源や豊かな自然等、多くの魅力ある資源を有しています。

こうした資源を活かし、圏域で連携した観光施策や地場産業の振興を推進することで、更なる誘客や地場産品の販路拡大が見込めます。

また、就職セミナーなどの連携により、地元企業就職への取り組みを推進し、圏域の活性化を目指します。

施策①　就労支援と雇用の促進

期待される効果

Ｕ・Ｊ・Ｉターン就職をはじめ、圏域内企業への就職者の増加が期待できます。

事業No.	1411	事業名	雇用、勤労者対策				
事業概要	合同就職セミナーの共同開催等により、圏域内の企業への就職を促進し、地域経済の後継者を育成します。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	名張市、笠置町、南山城村、山添村及び関係団体、関係機関との連携を強化し、雇用情報の収集及び提供を行い、雇用創出につながる活動を展開します。					
	名張市（サブコア）	伊賀市及び関係団体、関係機関との連携を強化し、雇用情報の収集及び提供を行い、雇用創出につながる活動を展開します。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市及び関係団体、関係機関との連携を強化し、雇用創出につながる活動を展開します。					

施策②　企業立地の促進

期待される効果

産業用地、企業間連携のための圏域内の企業に関する情報を共有・蓄積することにより、積極的・戦略的な企業誘致を行い、地域経済の発展につなげます。

事業No.	1421	事業名	企業立地促進				
事業概要	奨励金等の優遇措置をもって、企業誘致を推進します。また、未操業企業の早期操業に向けた支援をするとともに、民間遊休地等への企業誘致を推進します。また、産業用地、求人情報、企業間連携のための情報共有等・蓄積を図ります。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、産業集積の形成及び活性化に必要な取り組みを行います。					
	名張市（サブコア）	伊賀市と連携し、産業集積の形成及び活性化に必要な取り組みを行います。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市と連携し、産業集積の形成及び活性化に必要な取り組みを行います。					

施策③　広域観光事業

期待される効果

積極的に観光情報を発信することで各地域への誘客を促進するとともに周遊につながる旅行商品の造成につなげていきます。

事業No.	1431	事業名	広域観光				
事業概要	圏域に有する自然や歴史文化、伝統産業等の多様な地域資源を発掘・活用し、体験・学習型の観光プログラムの創出・提供に取り組みます。また、情報発信や観光人材の育成について連携して取り組み、圏域内での観光客の流れを作り、圏域内の顧客の共有を図ることにより、周遊性向上と滞在時間や観光消費額の増加を図っていきます。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	名張市、笠置町、南山城村、山城村と連携し、観光情報の収集、発信を行うとともに、観光資源の発掘に努めます。あわせて圏域内外での各種イベントでＰＲします。					
	名張市（サブコア）	伊賀市と連携し、観光情報の収集、発信を行うとともに、観光資源の発掘に努めます。あわせて圏域内外での各種イベントでＰＲします。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市と連携し、観光情報の収集、発信を行うとともに、観光資源の発掘に努めます。あわせて圏域内外での各種イベントでＰＲします。					

施策④　地域ブランド創造促進事業

期待される効果

集客の多いイベント等で物産展出店など、相互の特産品の情報発信を行うことにより、特産品等の認知度の向上が図れます。また、体験教室を行うことにより、伝統的工芸品を守り後継者を育成することができます。

市町村間での情報共有と共同・相互協力により、有機農業等への理解と認知が高まり、圏域内外への普及・振興が広がります。

事業No.	1441	事業名	地場産業振興				
事業概要	集客力の高いイベント等への物産展出店や伝統的工芸品などの体験イベントを行うことで、伝統的工芸品や特産品の情報発信、後継者育成支援を行います。 有機農業等の農産物の普及・振興を市町村が連携して推進し、圏域内外への波及拡大と継続的な体制づくりを図ります。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市 （中心市）	圏域内の特産品等の情報を共有し、新たなブランドの掘り起こしを図るとともに、イベントでの共同出品など、名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、広くＰＲします。					
	名張市 （サブコア）	圏域内の特産品等の情報を共有し、新たなブランドの掘り起こしを図るとともに、イベントでの共同出品など、伊賀市と連携し、広くＰＲします。					
	笠置町 南山城村 山添村	圏域内の特産品等の情報を共有し、新たなブランドの掘り起こしを図るとともに、イベントでの共同出品など、伊賀市と連携し、広くＰＲします。					

施策⑤　鳥獣被害防止対策

期待される効果

情報共有を行うことにより、同じ方向性が見出せ、各自治体が策定する計画や迅速な対応にも反映させることができます。

事業No.	1451	事業名	鳥獣害防止				
事業概要	各自治体における取り組みについての情報交換等を行いながら、有害鳥獣による農作物等への被害防止及び駆除を行います。 圏域内自治体でのクマ出没マニュアルや対策用品の整備状況に関する情報交換・情報共有を図ります。県境、市境にクマが出没した場合に備えた相互の連絡体制を構築し、出没情報等を受けた際には圏域内の自治体に早期に共有し注意喚起を行います。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市 （中心市）	名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、鳥獣被害防止対策に必要な取り組みを行います。					
	名張市 （サブコア）	伊賀市と連携し、鳥獣被害防止対策に必要な取り組みを行います。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市と連携し、鳥獣被害防止対策に必要な取り組みを行います。					

政策（５）環境

本圏域は木津川の流れを同じくし、周囲を山に囲まれた自然豊かな地域です。

このような中、圏域内で連携した環境保全活動や環境学習、ごみの資源化等の広報・啓発活動を行うことで、本圏域の豊かな自然環境の保全を目指します。

施策①　不法投棄防止対策

期待される効果

不法投棄を早期に発見し、速やかに回収・適正処理することで、投棄物の放置を防ぎ、投棄の誘発（投棄の連鎖）を抑制するとともに、不法投棄の抑止が図られます。

事業No.	1511	事業名	不法投棄防止				
事業概要	市町村間・地域間で情報交換・協力しながら、環境パトロールによる不法投棄の抑制及び回収を行います。また、啓発活動を通じて、抑制効果の向上に努めます。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	不法投棄防止監視パトロール業務を名張市、笠置町、南山城村、山添村及び関係団体と連携し、情報交換を行いながら、効率的な対策を講じます。					
	名張市（サブコア）	不法投棄防止監視パトロール業務を甲及び関係団体と連携し、情報交換を行いながら、効率的な対策を講じます。					
	笠置町 南山城村 山添村	不法投棄防止監視パトロール業務を伊賀市及び関係団体と連携し、情報交換を行いながら、効率的な対策を講じます。					

施策②　ごみ処理の広域連携の強化

期待される効果

適正なごみ分別により、圏域内のごみ減量、再資源化を進めることで、ごみ処理に係る経費の削減が見込まれます。

事業No.	1521	事業名	ごみの資源化				
事業概要	圏域全体において、ごみの分別を適正に行い、広域連携によるごみ減量、再資源化、資源循環の取り組みを進めることで、地域循環共生圏の形成を図ります。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	ごみ減量、再資源化などの施策について、市内に先進的な技術や多様なポテンシャルを有する環境・エネルギー事業者が多数立地していることから、そのような事業者や県と連携し、サーキュラーエコノミー（循環経済）の推進に向けた事業の検討を進め、ごみ減量、再資源化の取組を先導的に進めます。					
	名張市（サブコア）	伊賀市と連携し、ごみ減量や再資源化の取り組みを検討し、事業化を図ります。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市・名張市と連携し、ごみ減量や再資源化の取り組みを検討し、事業化を図ります。					

施策③　木津川流域の環境整備

期待される効果

河川美化活動を通じて、河川環境保全に対する意識の向上を図ります。

事業No.	1531	事業名	環境美化				
事業概要	木津川及びその支流において、河川美化活動及び啓発事業を毎年継続的に実施するとともに、活動内容や成果等を発信し、活動の輪を広げます。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	名張市						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、木津川流域の保全・整備・活用に必要な取り組みを行います。					
	名張市（サブコア）	伊賀市と連携し、木津川流域の保全・整備・活用に必要な取り組みを行います。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市と連携し、木津川流域の保全・整備・活用に必要な取り組みを行います。					

政策（６）防災

連携自治体では、今後想定される様々な災害に備え、それぞれの防災計画に基づき取組を進めています。

これからも圏域住民が安全・安心に暮らせるよう、さらに相互の連携や協力しあうことで、災害時への対応を迅速に行える体制づくりを目指します。

施策①　広域連携による防災力強化

期待される効果

計画的に災害用備蓄品等を備え、相互支援体制を構築し、災害時には、圏域住民へ災害用長期保存食や生活用品等の備蓄資機材の相互支援を行います。

事業No.	1611	事業名	防災資機材整備				
事業概要	避難者への救援物資を迅速に配布できるよう備えます。また、災害時には、災害用長期保存食や生活用品等の備蓄資機材の相互支援を行います。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	伊賀市の防災に関する情報を収集し、名張市、笠置町、南山城村、山添村と共有します。また、圏域内での訓練実施等を検討します。					
	名張市（サブコア）	名張市の防災に関する情報を収集し、伊賀市と共有します。また、圏域内での訓練実施等を検討します。					
	笠置町 南山城村 山添村	笠置町、南山城村、山添村の防災に関する情報を収集し、伊賀市と共有します。また、圏域内での訓練実施等を検討します。					

事業No.	1612	事業名	河川整備				
事業概要	木津川や名張川の河川改修など治水対策や砂防事業の要望を行い、地域の安全の向上を図ります。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	伊賀市の防災に関する情報を収集し、名張市、笠置町、南山城村、山添村と共有します。また、圏域内での訓練実施等を検討します。					
	名張市（サブコア）	名張市の防災に関する情報を収集し、伊賀市と共有します。また、圏域内での訓練実施等を検討します。					
	笠置町 南山城村 山添村	笠置町、南山城村、山添村の防災に関する情報を収集し、伊賀市と共有します。また、圏域内での訓練実施等を検討します。					

施策②　相互応援体制の確立

期待される効果

構成自治体においても過去に、伊賀上野地震（1854 年）や東近畿大水害・南山城水害（1953 年）など、大災害が発生し大きな被害を受けています。情報を共有することにより、同じ方向性が見出せ、策定する計画にも反映することができます。

常備消防は、有事の際は消防組織法に基づく緊急消防援助隊、相互応援協定等により応援出動が、消防団においては、相互応援協定等により相互応援出動が確立されています。

事業No.	1621	事業名	常備消防				
事業概要	常備消防は、有事の際は消防組織法に基づく緊急消防援助隊又は相互応援協定等により相互応援出動します。 三重県内消防相互応援協定（名張市）、伊賀市・名張市消防相互応援協定 伊賀市・相楽中部消防組合消防相互応援協定（笠置町・南山城村） 伊賀市・奈良広域消防組合消防相互応援協定（山添村）						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	名張市						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	名張市、笠置町、南山城村、山添村と相互応援協定等により連携します。					
	名張市（サブコア）	伊賀市と相互応援協定等により連携します。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市と相互応援協定等により連携します。					

事業No.	1622	事業名	消防団				
事業概要	消防団は、消防組織法に基づき各市町村に設置された非常備消防として組織され、消防団員は特別職の地方公務員として、普段は本業を持つ地域住民によって「自分たちの街は自分たちで守る」郷土愛護の精神で消火活動や救助活動に従事します。 有事の際は相互応援協定等により相互応援出動します。 三重県消防協会伊賀支会（伊賀市・名張市） 伊賀市・笠置町消防相互応援協定、伊賀市・南山城村消防相互応援協定 伊賀市・山添村消防相互応援協定、						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市 （中心市）	名張市、笠置町、南山城村、山添村と相互応援協定等により連携します。					
	名張市 （サブコア）	伊賀市と相互応援協定等により連携します。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市と相互応援協定等により連携します。					

【２】結びつきやネットワークの強化に係る分野

政策（１）公共交通

住民生活の維持や観光振興を図る上で、公共交通の維持・充実は不可欠です。

生活圏を同じくする本圏域において、通勤、通学、買物、通院等、交通弱者の利便性などを考慮した地域公共交通ネットワークの構築を目指すとともに、圏域を横断する関西本線や近鉄大阪線を基軸とし、観光振興等による地域活性化を視点に入れた公共交通網の整備を目指します。

施策①　地域公共交通対策

期待される効果

幅広い年齢層の移動手段を容易にするとともに、新たな交流の創出や圏域外からの交流人口の増加を図り、地域の活性化につなげることができます。また、新たな交通手段の確保、地域の活性化が期待できるリニア中央新幹線について、圏域内で理解を深めます。

事業No.	2111	事業名	鉄道網整備促進				
事業概要	大阪延伸が見込まれるリニア中央新幹線に係る情報を共有し、開業を見据えた地域全体の方向性を探ります。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	・笠置町、南山城村、山添村及び関係機関と連携し、地域公共交通の利用促進を図るとともに、病院等の公共的施設の開設時間に合わせたダイヤ調整を行います。 ・名張市及び関係機関と連携し、地域公共交通の利便性の向上と利用促進を図ります。					
	名張市（サブコア）	伊賀市及び関係機関と連携し、地域公共交通の利便性の向上と利用促進を図ります。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市及び関係機関と連携し、地域公共交通の利用促進を図るとともに、病院等の公共的施設の開設時間に合わせたダイヤ調整を行います。					

事業No.	2112	事業名	関西本線の利用及び電化の促進				
事業概要	関西本線のＩＣカード利用可能エリアが拡大されたことを機に、さらなる利用促進に努めるとともに、駅舎の再生利活用や列車の魅力づくり、着地型観光の振興などについて鉄道事業者や府県等の関係機関と連携して取り組みます。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	・笠置町、南山城村、山添村及び関係機関と連携し、地域公共交通の利用促進を図るとともに、病院等の公共的施設の開設時間に合わせたダイヤ調整を行います。 ・名張市及び関係機関と連携し、地域公共交通の利便性の向上と利用促進を図ります。					
	名張市（サブコア）	伊賀市及び関係機関と連携し、地域公共交通の利便性の向上と利用促進を図ります。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市及び関係機関と連携し、地域公共交通の利用促進を図るとともに、病院等の公共的施設の開設時間に合わせたダイヤ調整を行います。					

事業No.	2113	事業名	公共交通ネットワークの構築				
事業概要	ＪＲ関西本線、伊賀鉄道、近鉄大阪線、各路線バス及びコミュニティバス等を活用した、通勤、通学（特に府県をまたぐ高校通学の可能性）、買い物、通院に適したネットワークの構築を目指します。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市 （中心市）	・笠置町、南山城村、山添村及び関係機関と連携し、地域公共交通の利用促進を図るとともに、病院等の公共的施設の開設時間に合わせたダイヤ調整を行います。 ・名張市及び関係機関と連携し、地域公共交通の利便性の向上と利用促進を図ります。					
	名張市 （サブコア）	伊賀市及び関係機関と連携し、地域公共交通の利便性の向上と利用促進を図ります。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市及び関係機関と連携し、地域公共交通の利用促進を図るとともに、病院等の公共的施設の開設時間に合わせたダイヤ調整を行います。					

政策（２）ＩＣＴ・デジタル技術の活用

伊賀市・名張市は東海圏、笠置町・南山城村・山添村は関西圏に属することから、各自治体の情報は、それぞれの行政・経済圏域を中心に情報が発信されています。

このため、連携自治体が持つ情報発信ツールを活用することで、行政・経済圏域を越えた情報発信を行うとともに、圏域内においても情報共有を進め、相互交流の促進を目指します。

施策①　地域情報の共有化の推進

期待される効果

連携市町村の取組みやイベントなどに興味・関心を持ち、それぞれの住民による相互交流が促進されます。

事業No.	2211	事業名	広報紙連携				
事業概要	広報紙を通じて連携市町村の情報を相互に発信・共有し、取組やイベント、行政サービス等を分かりやすく住民に届けます。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	圏域内の情報を収集し、名張市、笠置町、南山城村、山添村に提供するとともに、圏域内外に発信します。					
	名張市（サブコア）	名張市の情報を伊賀市に提供するとともに、圏域内外に発信します。					
	笠置町 南山城村 山添村	笠置町、南山城村、山添村の情報を伊賀市に提供するとともに、圏域内外に発信します。					

事業No.	2212	事業名	SNS 等連携				
事業概要	SNS やホームページ、ケーブルテレビを活用し、文字情報に加えて写真・動画も用いながら、圏域の取組やイベントなどの情報を分かりやすく発信します。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	圏域内の情報を収集し、名張市、笠置町、南山城村、山添村に提供するとともに、圏域内外に発信します。					
	名張市（サブコア）	名張市の情報を伊賀市に提供するとともに、圏域内外に発信します。					
	笠置町 南山城村 山添村	笠置町、南山城村、山添村の情報を伊賀市に提供するとともに、圏域内外に発信します。					

政策（３）交通インフラの整備

圏域内各地は、幾つかの幹線国道によって結ばれており、同盟会等による広域的な道路整備等に係る要望活動に取り組んでいます。

引き続き、広域的な視点による幹線道路や生活道路の整備により、物流の円滑化や住民の利便性の向上、また観光客の誘導等の視点による道路整備を目指します。

施策①　広域幹線道路等の整備促進

期待される効果

広域的な道路整備等に係る要望活動に取り組むことで、圏域住民の利便性の向上等を図ります。

事業No.	2311	事業名	道路整備				
事業概要	国道 163 号並びに名阪国道、国道 25 号、国道 368 号、国道 165 号など、圏域市町村が連携して国や府県へ要望等を行います。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、物流の円滑化や圏域住民の利便性の向上など、広域的な視点で幹線道路や生活道路の整備に取り組みます。					
	名張市(サブコア)	伊賀市と連携し、物流の円滑化や圏域住民の利便性の向上など、広域的な視点で幹線道路や生活道路の整備に取り組みます。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市と連携し、物流の円滑化や圏域住民の利便性の向上など、広域的な視点で幹線道路や生活道路の整備に取り組みます。					

政策（４）地産地消

自然豊かな本圏域では、多くの農産物等が収穫されたり加工されたりしています。

これらの農産物等を、それぞれの道の駅や地場産品直売所で提供しあうことや圏域内で生産される食材を学校給食で利用しあうこと、子どもたちに安全・安心な地元農産物の良さについての啓発活動を行うことで、地場産品の消費の拡大を目指します。

施策①　地産地消の推進と販路拡大

期待される効果

物産品の販売等により、地域内消費を拡大し、地域産業の振興を図ります。

事業No.	2411	事業名	交流促進施設維持管理				
事業概要	道の駅等の利用者に対し、お互いの特産品の販売・ＰＲ、観光等の地域情報の提供や、圏域外への共同出展などにより、地域産業の振興を図ります。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、圏域内の特品等の情報を共有し、広くＰＲを行い、学校給食等への導入や圏域内外でのイベントへの共同出展など、販路拡大に取り組みます。					
	名張市（サブコア）	伊賀市と連携し、圏域内の特産品等の情報を共有し、広くＰＲを行い、学校給食等への導入や圏域内外でのイベントへの共同出展など、販路拡大に取り組みます。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市と連携し、圏域内の特産品等の情報を共有し、広くＰＲを行い、学校給食等への導入や圏域内外でのイベントへの共同出展など、販路拡大に取り組みます。					

政策（５）地域内外の住民との交流

圏域外からの人の流れを創出するには、都市圏に在住する住民への情報発信・支援制度の拡充や、圏域住民がお互いの自治体を理解することも重要です。

このため、圏域間での施設の相互利用や市民活動団体等の交流を深め、さらには圏域の魅力を圏域外に広く発信し、定住人口の確保を目指します。

施策①　移住・交流施策の推進

期待される効果

圏域内を訪れた人、また連携自治体のホームページを閲覧した人が圏域内の移住情報を得ることができます。各自治体単独で情報発信するよりも移住先の条件など選択肢が広がり、圏域内に関心を持つ人の増加が期待できます。

ふるさと納税を通じて圏域の魅力を相互に発信することにより、ふるさと納税寄附件数を増加させるとともに、新たな圏域ファン（関係人口）を創出します。

事業№	2511	事業名	移住・交流				
事業概要	移住情報サイトに連携市町村のバナーを設け、相互に連携し移住希望者への PR・情報発信を行うとともに、圏域全体で移住希望者向けの PR イベントの開催などに取り組みます。また、圏域全体で移住者情報を集約し、移住交流通信等により圏域内外へ発信するとともに、移住者と地域住民の圏域間での交流を深めます。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	移住・交流を促進するための情報収集と施策の検討を行い、名張市、笠置町、南山城村、山添村と共有するとともに、圏域として一体的な情報発信の取り組みを行います。					
	名張市（サブコア）	移住・交流を促進するための情報収集と施策の検討を行い、伊賀市と共有するとともに、圏域として一体的な情報発信の取り組みを行います。					
	笠置町 南山城村 山添村	移住・交流を促進するための情報収集と施策の検討を行い、伊賀市と共有するとともに、圏域として一体的な情報発信の取り組みを行います。					

事業№	2512	事業名	関係人口創出				
事業概要	ふるさと納税などの取組を通じ、圏域の魅力を相互に発信し、新たな圏域ファン（関係人口）を創出します。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	移住・交流を促進するための情報収集と施策の検討を行い、名張市、笠置町、南山城村、山添村と共有するとともに、圏域として一体的な情報発信の取り組みを行います。					
	名張市（サブコア）	移住・交流を促進するための情報収集と施策の検討を行い、伊賀市と共有するとともに、圏域として一体的な情報発信の取り組みを行います。					
	笠置町 南山城村 山添村	移住・交流を促進するための情報収集と施策の検討を行い、伊賀市と共有するとともに、圏域として一体的な情報発信の取り組みを行います。					

施策②　空き家の利活用

期待される効果

圏域内での情報共有とバンク物件情報の共同した情報発信により、圏域全体の空き家情報をわかりやすく周知することができます。これにより移住検討者の利便性とマッチング率を高めるとともに、各自治体の対応ノウハウの共有により、実務の効率化が期待できます。

事業No.	2521	事業名	空き家等対策				
事業概要	圏域自治体間で空き家対策の課題や事例等情報共有を図り、各自治体のバンク情報を共同して発信することで、圏域外からの移住・定住促進へ寄与させるとともに、管理不全空家等の適正管理を効率的に実施します。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	圏域の空き家情報を、空き家バンクを通して名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、共同発信します。					
	名張市（サブコア）	空き家情報について伊賀市に情報提供するとともに、圏域内の情報を発信します。					
	笠置町 南山城村 山添村	空き家情報について伊賀市に情報提供するとともに、圏域内の情報を発信します。					

施策③　公共施設の相互利用

期待される効果

圏域住民が連携市町村の施設を利用し合えることで、新規施設を整備することなく、圏域住民の利便性の向上が図れます。

事業No.	2531	事業名	公共施設の集約化・共同利用等				
事業概要	連携市町村の各公共施設について、圏域地域住民が相互に利用し合える体制・システムをつくります。 公共施設の相互利用の拡充について、他圏域の事例を情報収集し、当圏域において、どのようなあり方が有効か検討します。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	圏域全体のトータルメリットを最大化することをめざし、圏域内公共施設の利用促進のための環境整備に取り組みます。					
	名張市（サブコア）	公共施設に関する圏域内の情報共有を図るとともに、将来的な圏域公共施設の最適化に向けた検討に参画し、利用促進のための環境整備に取り組みます。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市、名張市の住民・団体に、笠置町、南山城村、山添村が所有する公共施設の使用を笠置町、南山城村、山添村の住民・団体と同一の基準で許可し、使用させます。					

施策④　交流拠点施設の活用などによる地域間交流

期待される効果

連携市町村や圏域内の事業者、団体等が交流することで、互いの結びつきが強まり、圏域全体の活力が創出できます。

<table>
<tr><td>事業No.</td><td>2541</td><td>事業名</td><td colspan="5">地域間交流</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">圏域内の住民活動団体の取り組みを情報発信し、団体間の交流を図ります。
圏域の将来を担う若者世代の交流を進めます。
幼少期から圏域住民としての一体感を養うための交流を通して、エリアプライド（圏域の誇り・自尊心）の醸成をめざします。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">事業費（千円）</td><td></td><td>2027 年度</td><td>2028 年度</td><td>2029 年度</td><td>2030 年度</td><td>2031 年度</td><td>計</td></tr>
<tr><td>伊賀市</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>名張市</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>笠置町</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>南山城村</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>山添村</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">役割分担</td><td>伊賀市
（中心市）</td><td colspan="5">名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、新たなサービスの仕組みの検討及び構築を行います。</td></tr>
<tr><td>名張市
（サブコア）</td><td colspan="5">伊賀市と連携し、新たなサービスの仕組みの検討及び構築を行うとともに、圏域内の住民・団体による主体的な交流活動を圏域全体へ展開・浸透させる役割を担います。</td></tr>
<tr><td>笠置町
南山城村
山添村</td><td colspan="5">伊賀市と連携し、新たなサービスの仕組みの構築に係る協議及び検討を行い、構築に向けた協力を行います。</td></tr>
</table>

【３】圏域マネジメント能力の強化に係る分野

政策（１）人材育成・交流

圏域の魅力ある地域づくりに向けた各種取り組みを進めていく上で、連携自治体の職員が連携を強め課題解決を図るとともに、職員の能力向上に取り組むことで、圏域のマネジメント能力の強化を目指します。

施策①　圏域内職員の人材育成

期待される効果

圏域内職員の職務遂行能力と人権意識を向上します。

圏域内職員間の交流・連携を深めます。

事業No.	3111	事業名	職員合同研修				
事業概要	圏域内職員の職務遂行能力向上を目的に各市町村が企画・実施する各種研修の相互利用を図ります。また、圏域職員の人権に関する意識・知識・行動力の向上を目的に伊賀市が企画・実施する職員人権･同和問題研修の圏域他市町村職員の受講を促進します。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	圏域で実施することが効果的な職員向けの研修会等を企画、実施するとともに、名張市、笠置町、南山城村、山添村が実施する職員研修等に参加します。					
	名張市（サブコア）	圏域で実施することが効果的な職員向けの研修会等を企画、実施するとともに、伊賀市が実施する職員研修等に参加します。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市が実施する職員向け研修会等に参加するとともに、笠置町、南山城村、山添村が実施する職員研修等に、伊賀市の職員の参加の機会を提供します。					

政策（２）外部からの人材確保

圏域に共通する政策課題について、各分野の専門的知識や多様な経験を有する人材を確保し、深刻化する人材不足問題に対応するとともに、職員の資質向上を図り、圏域内の連携を深めあうことを目指します。

施策①　専門的な知識経験を有する人材の確保

期待される効果

圏域の共通の政策課題について、より効果的に広域的な施策展開を図ることができ、圏域連携が深まります。

事業No.	3211	事業名	専門人材の確保と事務の共同実施の研究				
事業概要	圏域に共通する課題について、それぞれの分野の専門的知識や多様な経験を有する人材を確保し、深刻化する人材不足問題に対応します。 事務の共同実施について最適な解決策を検討します。						
事業費（千円）		2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	計
	伊賀市						
	名張市						
	笠置町						
	南山城村						
	山添村						
	計						
役割分担	伊賀市（中心市）	名張市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、圏域の共通の政策課題について、より効果的に広域的な施策展開を図ります。					
	名張市（サブコア）	伊賀市、笠置町、南山城村、山添村と連携し、圏域の共通の政策課題について、より効果的に広域的な施策展開を図ります。					
	笠置町 南山城村 山添村	伊賀市や名張市と連携し、圏域の共通の政策課題について、より効果的に広域的な施策展開を図ります。					

資料編

1. 伊賀城和定住自立圏（伊賀市・名張市・笠置町・南山城村・山添村）共生ビジョン懇談会設置要綱

（設置）

第１条　定住自立圏構想推進要綱（平成 20 年 12 月 26 日総行応第 39 号総務事務次官通知）第６に規定する定住自立圏共生ビジョン（以下「ビジョン」という。）を策定し、又は変更するに当たり、関係者の意見を幅広く反映するため、伊賀城和定住自立圏（伊賀市・名張市・笠置町・南山城村・山添村）共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第２条　懇談会は、ビジョンの策定又は変更に関することについて協議する。

（組織）

第３条　懇談会は、委員 16 人以内で組織する。

２　委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

⑴　学識経験者

⑵　定住自立圏形成協定の取り組み事項に関連する分野の関係者

⑶　前２号に掲げる者のほか、市長が適当と認める者

（委員の任期）

第４条　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第５条　懇談会に会長及び副会長１人を置く。

２　会長は、委員の互選によりこれを定め、副会長は、会長が指名する委員をもって充てる。

３　会長は、会務を総理し、懇談会を代表する。

４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第６条　懇談会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

２　会議は、委員の半数以上の者の出席がなければ開くことができない。

３　会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

（庶務）

第７条　懇談会の庶務は、未来政策部未来政策課において処理する。

（委任）

第８条　この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附　則

（施行期日）

１　この告示は、平成 28 年 11 月 14 日から施行する。

（任期の特例）

２　この告示の施行の日以後最初に委嘱される委員の任期は、第４条の規定にかかわらず、平成 30 年３月 31 日までとする。

（招集の特例）

３　この告示の施行の日以後最初に開かれる会議は、第６条第１項の規定にかかわらず、市長が招集する。

附　則

（施行期日）

１　この告示は、令和元年 10 月８日から施行する。

（任期の特例）

２　この告示の施行の日以後最初に委嘱される委員の任期は、第４条の規定にかかわらず、令和２年３月 31 日までとする。

附　則

この告示は、令和７年４月１日から施行する。

附　則

この告示は、令和９年４月１日から施行する。

２．共生ビジョン懇談会委員名簿

【伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン懇談会】

2016（H28）.11.28～2018（H30）.3.31

番号	区分	氏名	所属団体	備考
1	全般	土山　希美枝	龍谷大学政策学部	副会長
2	全般	松田　克彦	三重県伊賀地域防災総合事務所	~H29.4.27
		岡村　順子		H29.4.28~
3	全般	中西　正和	京都府山城広域振興局	~H29.4.27
		姫野　孝宏		H29.4.28~
4	医療・福祉	奥田　詩織	社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会	
5	教育	上出　通雄	伊賀市社会教育委員	
6	産業振興	稲垣　八尺	一般社団法人伊賀上野観光協会	
7	産業振興	粟野　仁博	上野商工会議所	
8	環境・防災	奥　　伸也	伊賀市消防団	
9	公共交通・情報	長澤　卓夫	西日本旅客鉄道株式会社	
10	住民交流	島井　不二雄	島ヶ原地域まちづくり協議会	会　長
11	笠置町	仲北　悦雄	笠置町区長会	
12	笠置町	中西　隆夫	一般社団法人観光笠置	
13	南山城村	安場　昭和	社会福祉法人南山城村社会福祉協議会	
14	南山城村	大仲　順子	南山城村人権擁護委員	

【伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン懇談会】

2018（H30）.4.1～2019（R元）.10.7

番号	区分	氏名	所属団体	備考
1	全般	久　　隆浩	近畿大学総合社会学部	会長
2	全般	岡村　順子	三重県伊賀地域防災総合事務所	~H31.4.15
		河　　治希		H31.4.16~
3	全般	姫野　孝宏	京都府山城広域振興局	~H31.4.17
		辻村　徳夫		H31.4.18~
4	医療・福祉	奥田　詩織	社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会	
5	医療・福祉	髙本　昌平	南山城村社会福祉協議会	
6	教育	上出　通雄	伊賀市社会教育委員	
7	産業振興	稲垣　八尺	一般社団法人伊賀上野観光協会	
8	産業振興	中西　隆夫	一般社団法人観光笠置	
9	環境・防災	奥　　伸也	伊賀市消防団	
10	公共交通・情報	前川　　徹	西日本旅客鉄道株式会社	~R元.5.31
		友田　明石		R元.6.1～
11	住民交流	島井　不二雄	島ヶ原地域まちづくり協議会	~R元.6.11
		松永　享二		R元.6.12~
12	笠置町	仲北　悦雄	笠置町推薦委員	副会長
13	南山城村	大仲　順子	南山城村推薦委員	

【伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会】

2019（R元）.10.8～2020（R2）.3.31

番号	区分	氏名	所属団体	備考
1	全般	久　隆浩	近畿大学総合社会学部	会長
2	全般	河　治希	三重県伊賀地域防災総合事務所	
3	全般	辻村　徳夫	京都府山城広域振興局	
4	全般	米田　学	奈良県南部東部振興課	R元.10.21～
5	医療・福祉	奥田　詩織	社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会	
6	医療・福祉	髙本　昌平	南山城村社会福祉協議会	
7	医療・福祉	奥谷　博文	社会福祉法人山添村社会福祉協議会	R元.10.21～
8	教育	上出　通雄	伊賀市社会教育委員	
9	産業振興	稲垣　八尺	一般社団法人伊賀上野観光協会	
10	産業振興	中西　隆夫	一般社団法人観光笠置	
11	環境・防災	奥　伸也	伊賀市消防団	
12	公共交通・情報	友田　明石	西日本旅客鉄道株式会社	
13	住民交流	松永　享二	島ヶ原地域まちづくり協議会	
14	住民交流	仲北　悦雄	笠置町推薦委員	副会長
15	住民交流	大仲　順子	南山城村推薦委員	
16	住民交流	神保　弘治	山添村推薦委員	R元.10.21～

【伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会】

2020（R2）.4.1～2022（R4）.3.31

番号	区分	氏名	所属団体	備考
1	全般	久　隆浩	近畿大学総合社会学部	会長
2	全般	河　治希	三重県伊賀地域防災総合事務所	～R3.8.30
		中嶋　中		R3.8.31～
3	全般	湯瀬　敏之	京都府山城広域振興局	
4	全般	米田　学	奈良県南部東部振興課	
5	医療・福祉	奥田　詩織	社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会	
6	医療・福祉	髙本　昌平	南山城村社会福祉協議会	
7	医療・福祉	奥谷　博文	社会福祉法人山添村社会福祉協議会	
8	教育	岩佐　絹江	伊賀市社会教育委員	
9	産業振興	稲垣　八尺	一般社団法人伊賀上野観光協会	
10	産業振興	松井　克夫	笠置町商工会	
11	環境・防災	杉本　佳也	伊賀市消防団	
12	公共交通・情報	友田　明石	西日本旅客鉄道株式会社	~R3.12.27
		宮原　宏規		R3.12.28~
13	住民交流	松永　享二	島ヶ原地域まちづくり協議会	
14	住民交流	仲北　悦雄	笠置町推薦委員	
15	住民交流	大仲　順子	南山城村推薦委員	副会長
16	住民交流	神保　弘治	山添村推薦委員	

【伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会】

2022（R4）.4.1～2024（R6）.3.31

番号	区分	氏名	所属団体	備考
1	全般	久　　隆浩	近畿大学総合社会学部	会長
2	全般	藤井　理江	三重県伊賀地域防災総合事務所	～R5.5.8
		辻上　浩司		R5.5.9～
3	全般	湯瀬　敏之	京都府山城広域振興局	～R4.5.25
		足立　　操		R4.5.26～
4	全般	大西　勝治	奈良県南部東部振興課	
5	生活機能	野田　　守	社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会	～R5.5.17
		吉田　文江		R5.5.18～
6	生活機能	岩佐　絹枝	伊賀市社会教育委員	
7	生活機能	稲垣　八尺	伊賀上野観光協会	
8	生活機能	杉本　佳也	伊賀市消防団	
9	生活機能	松井　克夫	笠置町推薦委員	
10	生活機能	奥田　詩織	南山城村推薦委員	
11	生活機能	中西　義樹	山添村推薦委員	
12	結びつき	松永　享二	島ヶ原地域まちづくり協議会	
13	結びつき	宮嵜　康広	笠置町推薦委員	
14	結びつき	大仲　順子	南山城村推薦委員	副会長
15	結びつき	奥谷　正美	山添村推薦委員	

【伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会】

2024（R6）.12.24～2026（R8）.12.23

番号	区分	氏名	所属団体	備考
1	全般	久　　隆浩	近畿大学総合社会学部 ～R7.3.31 近畿大学名誉教授 R7.4.1～	会長
2	全般	辻上　浩司	三重県伊賀地域防災総合事務所	～R7.3.31
		川上　正晃		R7.4.1～
		西田　憲一		R8.4.1～
3	全般	島田　和幸	京都府山城広域振興局	
4	全般	大西　勝治	奈良県美しい南部東部振興課	
		落合　信也		R8.4.1～
5	分野別関係者	中浦　順一郎	伊賀市推薦委員（伊賀上野観光協会）	
6	分野別関係者	川向　啓造	伊賀市推薦委員（伊賀市商工会）	
7	分野別関係者	杉本　佳也	伊賀市推薦委員（伊賀市消防団）	
		松山　彰宏		R8.4.1～
8	分野別関係者	東　　達廣	笠置町推薦委員	
9	分野別関係者	谷本　友紀	笠置町推薦委員	
10	分野別関係者	大仲　順子	南山城村推薦委員	副会長
11	分野別関係者	奥田　詩織	南山城村推薦委員	
12	分野別関係者	奥谷　正美	山添村推薦委員	
13	分野別関係者	中西　義樹	山添村推薦委員	
14	分野別関係者	時枝　民生	名張市推薦委員	～R7.5.28
		古谷　久人		R7.5.29～
15	分野別関係者	我山　博章	名張市推薦委員	

3．共生ビジョン策定及び変更経過

幹事会　推進協議会　共生ビジョン懇談会

年　月　日		内　　容
2015 年 （平成 27 年）	5 月 19 日	市議会議員全員協議会【伊賀市】 伊賀市を中心市とする定住自立圏の形成について
	6 月 16 日	市議会総務常任委員会所管事務調査【伊賀市】
	6 月 24 日	市議会議員全員協議会【伊賀市】 定住自立圏構想中心市宣言
2016 年 （平成 28 年）	5 月 10 日	定住自立圏関係会議【伊賀市・笠置町・南山城村】
	5 月 20 日	市議会議員全員協議会【伊賀市】 伊賀市を中心市とする定住自立圏の形成について
	6 月 16 日	伊賀・山城南定住自立圏　推進協議会
	6 月	6 月定例会【伊賀市 6/27、笠置町 6/15、南山城村 6/27】 協定議案の議決条例の可決
	6 月	議員全員協議会【伊賀市 6/27、笠置町 6/23、南山城村 6/27】 定住自立圏の形成に関する協定書案について
	7 月 1 日～ 8 月 1 日	協定書案パブリックコメント募集 （意見提出者数：14 人、意見件数：21 件）
	8 月 2 日	伊賀・山城南定住自立圏　幹事会
	9 月	議会 9 月定例会【伊賀市 9/27、笠置町 9/21、南山城村 9/27】 定住自立圏の形成に関する協定書　可決
	10 月 4 日	伊賀・山城南定住自立圏形成協定　合同調印式
	10 月 4 日	推進協議会
	11 月 18 日	幹事会
	11 月 28 日	伊賀・山城南定住自立圏　共生ビジョン懇談会
	12 月 26 日	幹事会
2017 年 （平成 29 年）	1 月 5 日	共生ビジョン懇談会
	2 月 3 日	幹事会
	2 月 9 日	共生ビジョン懇談会
	2 月 23 日	幹事会
	3月15日～4 月 14 日	伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン（中間案）パブリックコメント募集（意見提出者数：3 名、意見数：13 件）
	4 月 28 日	共生ビジョン懇談会
	5 月 18 日	共生ビジョン懇談会
	6 月 16 日	推進協議会 伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン策定
	9 月 25 日	幹事会
2017 年 （平成 29 年）	10 月 31 日	共生ビジョン懇談会
	12 月 19 日	幹事会
2018 年 （平成 30 年）	2 月 21 日	幹事会
	3 月 20 日	推進協議会
	3 月 29 日	共生ビジョン懇談会
	5 月 16 日	幹事会
	6 月	議会 6 月定例会【伊賀市 6/25、笠置町 6/12】 定住自立圏形成協定の一部変更について　可決
	6 月 25 日	定住自立圏の形成に関する協定書の一部を変更する協定書　調印【伊賀市、笠置町】
	7 月 30 日	幹事会
	8 月 9 日	共生ビジョン懇談会
	10 月 10 日	推進協議会 伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン変更
2019 年 （平成 31 年/ 令和元年）	2 月 27 日	伊賀・山城南定住自立圏研修会 圏域の連携推進について
	4 月 10 日	幹事会
	4 月 23 日	推進協議会
	5月 30 日～6 月 28 日	協定書案【伊賀市・山添村】パブリックコメント募集　（意見件数：0 件）
	6 月 21 日	幹事会
	7 月 4 日	共生ビジョン懇談会
	7 月 8 日	推進協議会
	9 月	議会 9 月定例会【伊賀市 9/30、山添村 9/25】 定住自立圏の形成に関する協定書　可決
	10 月 8 日	定住自立圏形成協定締結式【伊賀市・山添村】
	11 月 6 日	伊賀・山城南・東大和定住自立圏　幹事会
	11 月 15 日	伊賀・山城南・東大和定住自立圏　推進協議会
	11 月 22 日	伊賀・山城南・東大和定住自立圏　共生ビジョン懇談会
2020 年 （令和 2 年）	1 月 20 日	幹事会
	2 月 6 日	推進協議会
	7 月 8 日	幹事会
	7 月 20 日	共生ビジョン懇談会
	8 月 12 日	推進協議会
	8 月 12 日	幹事会

2021 年 （令和 3 年）	5 月 21 日	幹事会
	8 月 3 日	幹事会
	8 月 24 日	推進協議会
	8 月 31 日	共生ビジョン懇談会（※書面開催）
	10 月 20 日～ 11 月 22 日	第 2 期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン（中間案）パブリックコメント募集 （意見提出者数：４名、意見数：１８件）
	12 月 20 日	幹事会
	12 月 28 日	共生ビジョン懇談会
2022 年 （令和 4 年）	1 月 21 日	推進協議会 第 2 期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン策定
2023 年 （令和 5 年）	6 月　1 日	幹事会
	8 月 21 日	共生ビジョン懇談会
	9 月 *26* 日	推進協議会
2024 年 （令和 6 年）	7 月 10 日～ 8 月 16 日	伊賀市・名張市「定住自立圏の形成に関する協定書（案）」に係るパブリックコメント（ご意見）募集【意見提出者数：10 名、意見数：12 件】
	7 月 19 日	幹事会
	8 月　1 日	推進協議会
	9 月	議会 9 月定例会【名張市 9/27、伊賀市 9/30】 定住自立圏の形成に関する協定書　可決
	10 月 22 日	定住自立圏形成協定締結式【伊賀市・名張市】
	11 月 13 日	幹事会
	12 月 24 日	共生ビジョン懇談会
2025 年 （令和 7 年）	2 月 21 日	幹事会
	3 月 24 日	共生ビジョン懇談会
	5 月 23 日～ 6 月 23 日	第 2 期共生ビジョン（変更案）パブリックコメント募集 （意見提出者数：11 名、意見数：14 件）
	7 月 18 日	幹事会
	8 月 18 日	推進協議会 第 2 期共生ビジョン変更
	11 月 26 日	幹事会
2026 年 （令和 8 年）	4 月 30 日	幹事会
	5 月 26 日	幹事会
	7 月 23 日	幹事会
	8 月 10 日	推進協議会
	8 月 21 日	共生ビジョン懇談会
	●月●日～ ●月●7 日	第 3 期共生ビジョン（中間案）パブリックコメント募集 （意見提出者数：●名、意見数：●件）
	●月●日	幹事会
	●月●日	幹事会
	●月●日	共生ビジョン懇談会
2027 年 （令和 9 年）	●月●日	推進協議会 第 3 期伊賀城和定住自立圏共生ビジョン策定

４．定住自立圏構想中心市宣言

定住自立圏中心市宣言

現在、わが国は、少子化や高齢化による本格的な人口減少社会に突入しており、特に地方においては、急速な少子化・高齢化に加え、都市圏への人口流出による大幅な人口減少が深刻な問題となっており、それぞれの地方自治体は、地域の特性を活かしたまちづくりを進めていくことが求められています。

古くから「伊賀の国」として知られる伊賀地域は、三重県の北西部に位置し、北は滋賀県、西は京都府・奈良県に隣接し、東は鈴鹿山脈と布引山地、西は大和高原などに囲まれた盆地で、淀川の源流域として自然環境に恵まれたところです。

また、当地域は、俳聖松尾芭蕉や江戸川乱歩の生誕地、観阿弥創座の地、横光利一、荒木又右衛門などのゆかりの地であるとともに、伊賀流忍者のふるさととしても知られており、当地域内だけでなく、府県を越えた近隣自治体とも歴史的・文化的・経済的に深い結びつきがあり、生活圏を共有しています。

今後、伊賀市や近隣自治体は、先人から受け継いだ数多くの宝をそれぞれの地域の潜在力として活かしながら、行政区域という垣根を越えた広域的な取り組みを進める必要があります。このため住民をはじめとしたあらゆる主体と連携・協力することにより、圏域全体で医療、福祉、教育、交通といった住民の暮らしに必要な生活機能を確保し、都市への人口流出を食い止め、定住人口の確保という新たな人の流れを創出していかなければなりません。

本市は、近隣自治体とともにそれぞれの地域資源や特性を活かし、互いに連携し、住民が安心して暮らせる圏域づくりを進めていくため、中心的な役割を果たす「中心市」となることをここに宣言します。

2015（平成 27）年６月 24 日

伊賀市長　岡 本　栄